年中無休刊（日曜日祭日休刊なし）　大正七年五月二十二日　THE KEIJO NIPPO　第三千八百三十號（一）

京城日報

二十一日夕刊（朝夕刊を併せて八頁）

本紙定價 ▲一部金二錢五厘▲一ヶ月金五十五錢▲郵稅一ヶ月金十五錢▲三ヶ月分金一圓六十錢 前金に限り…
廣告料金 ▲五號七字詰一行 ▲活字詰一行 …
發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

表刻時 [illegible]

日支協約と米國
何等の質問をも提起せず

米國國務省員の談に據れば日支新協約により國務省の極東政策に何等の新變化を生ずるが如き事無かる可し國務省は日支兩國が其豫想し得る有ゆる危險に對し自衛の爲め提携するに至れる動機に就き何等質問を提起せんとする如き意思なし（紐育電報）

留學生取締嚴命

張奉天督軍は支那留學生の取締を各地方官に嚴命し彼等の集會結社を嚴禁せり（奉天特電）

南征後續部隊出動

張奉天督軍は益々南方討伐に決し十八日より續々後續部隊を出動せしめ居れり又奉天軍の四川攻擊軍は漢口に總監部を置き湖南應援軍は長沙に司令部を設け京奉、津浦沿線にも相當の守備兵を配置し時宜に應じて應援せしむ可しと（奉天特電）

二十七師長南征

張督軍麾下の孫二十七師長は奉天軍を統率して南征に決し揚參謀長と共に十九日京奉線にて出發せり（奉天特電）

聯合政務總裁選擧

廣東に於ける非常國會は唐繼堯、陸榮廷、伍廷芳、唐紹儀、孫文、岑春煊、莫榮新氏等を西南聯合政務總裁に選擧せるが孫文氏は直に辭退せりと（北京特電）

愛知選擧結果

愛知縣の補缺選擧は競爭極めて猛烈なりしが十九、二十の兩日に亙り全部開票の結果內藤傳六氏當選せり票數は二萬八百八十一票內藤傳六氏、一萬九千七百七十六票大島卯吉氏なり（名古屋電報）

外米賣出好況

大阪岩井商店にて二十日外米の賣出を開始せるに相當の景氣にて午後一時迄に約一萬袋賣却せり（大阪特電）

總督陸大生招待

長谷川總督は二十三日午後四時半總督官邸に陸軍大學校職員生徒一行六十四名を招待し茶菓の饗應をなすべく當日は總督並に軍司令官以下二十六名列席す可し

郵貯改制要點

郵便貯金規則改正の件は二十一日官報を以て發布即日より實施されしがその內容に付當局者は曰く今回三箇條の改正中第五十五條の二たる郵便貯金に預入したる證券にして無効その他の事由により之れを現金に引換ゆる事を得ざるものなる時はその預入を取消し當該證券は之れを預け人に返附すとある成文とせしものにて一般にとり重要の意味を含めるものに非ず但し第百十五條及び第百十六條の二項は若干規約貯金預入者にとり便利となれり乃ち從來規約貯金に加入せるものにして脫退並に解散の場合通帳に記入しある拂戾制限の文字はその預入しある郵便局所にあらざる限り抹殺をなし得ざる事となり居りしも二十一日以後郵便爲替貯金管理所にても之れが抹殺をなし得る事となりしなり

稅關長會議（第二日）

稅關長會議第二日は二十一日午前九時より總督府第二會議室に於て鈴木度支部長官統裁の下に開會前日に引續き協議事項の協議をなし正午休憩午後三時散會せり

支那留學生監督江庸氏

日支軍事交涉の內容を誤解せる支那留學生は大擧して歸國を企て既に一部は上海へ上陸せるが北京へは阮湘以下三四名の代表者來り要路の人々に面會を求むるなど和應容易ならざるを以て政府も聊か憂慮せる折柄十七日夜突然大總統令を以て前司法總長にして早稻田大學出身なる江庸氏を支那留學生監督に命じ氏は不日赴任の事となれり（北京）

定例長官會議

二十一日午前十時より總督府第一會議室に定例長官會議を開き山縣政務總監を始め各部長官局長等參集諸般政務に就き夫々審議する處あり正午散會せり

鮮鐵營業哩數
一千百餘哩に及ぶ

滿鐵朝鮮線の營業哩數は本月初旬平壤勝湖里線の開業あり一千百零二哩一分となりしが各線の哩數左の如し

各線別	哩程
京釜線	三二四、四
京義線	三七一、三
京元線	一三八、四
湖南線	一七六、〇
咸鏡線	九二、〇

尙ほ之れを前年の同期に比すれば三十六哩の增加なり

水產製品檢査所

來る七月一日より施行さる可き海藻及び水產製造品の檢査を行ふ稅關及び檢査所十六箇所の位置を左の如く定められ二十二日附總督府官報にて告示さる可し

▲仁川稅關▲釜山稅關（慶北迎日郡浦項面、同[illegible]島南面）▲元山稅關（江原道通川郡臨南面、同江陵郡新里面）▲鎮南浦稅關▲木浦稅關支署（全南麗水郡麗水面、同濟州島濟州面）▲馬山支署（慶北統營郡統營面）▲城津支署（咸北城津郡城津面）▲清津支署（咸北慶興郡雄基面）▲新義州支署

通貨縮少
鮮銀券五千萬圓臺

五月に入りて鮮滿の金融界は回收期となり貸出しは漸次遞減の狀態となり乃ち鮮內にては夏物仕入期も一段落を告げ昨今米價も下押し氣味加ふるに水鉛鱗狀黑鉛の下落と共に買出資金の需要減あり滿洲は特產の出廻り一段落を告げしため通貨も漸次縮少し五月十二日より十八日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は五千九百五十四萬九千圓にして昨年十二月以來前々週迄六千萬圓臺を維持し來れるが遂に五千萬圓臺に落ちたり又週末の發行高は五千九百十六萬二千圓にして今後尙ほ縮少を告ぐべきか然も之れを前年に比すれば尙ほ二千萬圓以上の增發なり

臨時貨車運轉

滿鐵京城管理局にては二十一日より當分の內平壤安東間一日一往復の臨時貨物列車を運轉することゝなれり發着時刻左の如し

▲午前零時十五分平壤發午後十二時四十分安東着▲正午十二時安東發午前一時二分平壤着

公會堂問題經過

京城公會堂新營に關しては其後議愈々進捗し本年中に基礎工事を了し大正八年秋迄には落成式を擧行すべき計畫なるが一方公會堂新營費十三萬圓の寄附金募集も漸く一段落を告げたるものゝ如く即ち兩三日前釘本商議副會頭、大村書記長は美濃部鮮銀總裁川上東拓理事久保滿鐵理事を朝鮮ホテルに招待午餐會の席上寄附金問題に關し種々懇談する所あり引續き會議所特別評議員會の開催となり始めて銀行會社等法人側の寄附金に關する大體の解決定せられたるを以て會議所にては改めて一般民間有資者に向つての寄附勸誘に着手すと

朝鮮に於ける起業
今ぞ絕好の時機＝官民の協力
東京商業會議所會頭 藤山雷太氏談

入京中の藤山雷太氏を巴城館に訪ふ氏は過般來少しく健康を害し居れども多用の身は靜養するを許されず、押して來訪したりと打笑ひつゝ談る

今回の渡鮮は甜菜糖會社に關する用向の爲めだ、會社の事業は御承知の通り、何分機械の取寄方が困難なので工場の設備すら出來ない、英國にボイラー、米國に其他の機械を註文してあるが、其爲めに派遣した社員からの報告に依れば、當方で如何に焦慮つても致方がないといふので、私も先づ其樣なものかと思つて居る、英國は固より米國でも戰爭の爲めには何ものゝ

▲犧牲をも辭せない、彼の贅澤な米國人が麵麭を節約する、ワシントンの墓に詣るのに、平時ならば電車、汽車、汽船三樣の孰れでも選ぶことが出來るのだが、今では三者の中一つ宛交代で運轉して居るさうだ、之れは石炭節約の爲めだ、斯く迄で戰爭氣分で緊張して居るのに、金儲けの用に供する機械を早く送れと急き立てゝもダメ、却つて反感を買つて一層遲くなるかも知れない、此上は唯當方で出來る丈けの準備をして機械の到着を氣永く待つ外致方が無い、夫れで本年からは準備的事業の一つとして稍大規模の甜菜試作をすることにした、栽培面積は

▲三百町步位の 豫定であるが、全部採種用に充てるつもりだ、栽培は無論地方農民に委託して、之を會社で買取ることにする、諸物價騰貴の折柄、相應高値に買はねばなるまい、物價騰貴と云へば、米價の調節には政府當局でも骨を折つて居る樣だが、高いのが必然の數ぢやあるまいか、內地米ばかりで無いから困る、日銀の兌換券八億といふのだ、物價騰貴も必然の數だ、銀行で預金利子を引上げて之が吸收に努めて居るのは原來營業上の理由に基くものであらうが、自ら通貨の收縮が行はれて間接には物價調節の作用を爲すかも知れない、政府も豫て通貨の

▲收縮の意は有つて居るらしい、倂し急に收縮策でも講じやうものなら、其反動が恐ろしいから手を下し兼ねて居るのだ、處で銀行の方は歐洲戰爭の成行きに懸念してビク〱ものだ、預金吸收も要するに之が爲めであらう、而かも期せずして政府の通貨收縮方針に副ふ樣になれば面白い効果を贏得る譯だが、銀行の狀態は何時迄で續くか一切豫測を容さない、若し夫れ朝鮮の銀行にして預金利子引上げ、隨つて貸金の利上げを行ふ樣のことがありとすれば、私は其可なる所以を知らない、之れも營業上の理由から已むを得ないとすれば夫れ迄でだが

▲朝鮮の如きは 今日此際官民一致協力して大に事業を起さなければ、戰後當然襲來すべき恐慌時代に誰も手を出す者が無い、然るに金融を引締めて折角盛んになつて來た朝鮮の事業界に、大か小か、兎に角幾らかの影響を及ぼすべく想像さるゝ措置を執ることは、十分愼重なる考慮を要する、私は二十日朝政務總監にお目にかゝつて、既に朝鮮に於て事業に手を染めた以上、何でも然るべき事業があれば大に努力して見たいとお話して置いた、近來問題となつて居る

▲工業原料鹽も 總督府で天日製鹽を許可する方針に確定したのなら、此機會に調査したいものだ

浦鹽電信開通

京城浦鹽間の電報は十九日午後一時より不通の狀態にありしが二十日午後五時開通せり原因は雷雨の爲めなりしが如しと

水產製品檢査規則發布に就て（一）
谷水產課長談

朝鮮に於ける水產業の發達と共に水產物を原料とする製造品の產額も著しく增加するに伴ひ其の輸移出額も亦累年其の

▽數量を增し 大正五年に在りては鹽乾魚介類、罐詰品、肥料及び海藻に合せ其の產額約千萬圓、輸移出額五百萬圓に達するに至れり然れども製品の改良及び統一に關しては未だ遺憾の點少からず時に不良の原料を用ゐ或は粗雜なる製造を爲し殊に近來製品量目の增加を圖らむが爲不正の手段を講ずるの弊を生じ爲に內地及び支那方面等に於て朝鮮產製品の聲價を失墜するに至れるもの少からず又朝鮮に於ける水產製造業は多くは其の規模大ならざるを以て製品の甚だ區々にして統一なく從て大組織の取引に適せず個々大口の注文あるも

▽拱手傍觀の 外なきのみならず現に外國に輸出せらるゝものと雖も多くは一旦內地に移出せられ更に內地商人の手に依りて輸出せらるゝを常とす大正五年に於ける輸移出總額五百萬圓中內地に於て消費せらるゝもの約二百六十萬圓支那其の他の外國に於て消費せらるゝもの約二百四十萬圓にして此中朝鮮より直輸出せるものは僅に一割內外に過ぎざるの狀況なり而して之等の弊害を矯正し製品の統一を期するに就ては一般水產業の助長獎勵と共に一面漁業取締規則の勵行に俟つべしと雖も製品の檢査を施行し檢査に合格せざるものは其の輸移出を禁ずるとともなすは從來施行せられたる各種檢査の實蹟に徵し

▽其目的を達 するに最捷徑なりと認めらる敍上の弊害は獨り我朝鮮產品のみに限らず農商務省は夙に內地に於て此の種の弊害を認め曩に水產製品製造及び檢査標準を公示し更に明治四十一年肥料取締法を設け次で大正五年一月輸出飮食物罐詰取締規則を發布し同年八月鰮、鯡〆粕製品取締規則を制定し且同業組合又は水產組合等に對し多額の經費を補助し右の規程に準據し各開港場に於て食用乾製品及び食用罐詰品の檢査を行はしむることゝせり而して農商務省は當時朝鮮に於ける製品檢査の施行を要望せるも本府は經費其の他の關係上之が實施を見る能はず

▽大正七年度 より實施すべきを約して其の期間罐詰品以外の朝鮮產品に限り內地に於ける檢査を免除すべき協定を遂げたり由來我朝鮮の水產製品は多くは一旦內地に移出し內地商人の手を經て更に外國に輸出せらるゝこと上述の如くなるを以て是等朝鮮產品に在りては內地に於て右の檢査を受けず又は當該法令の適用を受けざるべからず若し內地に於て檢査に合格せず又は法令に違反するが如きことあらば製品の取引を阻害し當業者の蒙る損失の多大なるは言を俟たざる所にして朝鮮水產業の現況に在りては內地に於ける製品の取締及檢査と同一方針の下に速かに

▽製品の檢査 を施行し朝鮮に於て檢査に合格したるものは內地に於て再檢査を行はしめざることゝなすは最緊要のことなるを以て本規則發布前農商務省と協定し既に其の內諾を得たり要するに檢査規則發布の趣旨は朝鮮に於ける水產製品の弊害を矯正し其の改良統一を圖り聲價を發揚すると共に特に直輸出の增加を圖らむとするに在り尙目下の狀態に在りては內地と同一步調に出づるの必要をも加味したるものと謂ふを得べし

軍司令官檢閱

松川軍司令官は宇佐美副官竹內中佐千輪大尉參謀岡少佐小野大尉有働一等軍醫松尾三等主計正を從へ二十一日より二十五日迄龍山部隊の隨時檢閱を行ふ筈なるが其の日程左の如し

▲二十一日より二十三日午後三時迄步兵第七十九聯隊檢閱▲二十三日午後步兵第四十旅團檢閱▲二十四日陸軍倉庫及京城衛戍病院檢閱▲二十五日朝鮮步兵隊檢閱

立花師團長出發

立花第十九師團長は大沼副官帶同步兵第三十九旅團幹部演習視察の爲め二十一日午前十時龍山發列車にて新安州に向へり

市川參謀長出張

軍參謀長市川堅太郎少將は新安州に於て擧行さる可き步兵第三十九旅團幹部演習檢閱の爲め二十日夜龍山發同地に向ひたるが歸任は二十四日なるべしと

岡本參謀長出發

第十九師團岡本參謀長は地理實查の爲め廿一日より廿五日迄五日間金州木浦方面へ出張す可く二十一日朝出發せり歸任は豫定の如く二十五日夜なるべし

古海總長歸任期

去る七日京城發國境方面に出張中なりし古海警務總長は廿二日午後南大門驛着列車にて歸任す可し

山本中國新聞社長

廣島中國新聞社長山本三朗氏は支那視察の歸途二十日午後一時二十七分平壤驛着列車にて來壤し牡丹臺其他の探勝をなし翌午前一時半京城に向け出發せり（平壤）

奧田地方部長歸省

本社編輯局地方部長奧田直毅氏は母堂重患の報に接し高知市に歸省せり

新司法十年（四）
辯護士 中村時章氏談

○終りに特に一言したきは我々辯護士は京城に四五十人は居るが京城事件だけでも一年には二千件近くはある故各辯護士は或時は敵となり或時は共同して訟廷に立ち入り亂れて每日仕事をなすのであるが從來四十二三年の事を思ふと鮮人の批評に上るのは辯護士同志が八百長をやるとか慣れ合をするとか彼の辯護士と此辯護士は懇意の間柄故危險であるとか評するものがある是れも今日では大分誤解が無い樣である人間の自主的精神は左樣容易に打毀さるゝものではない却而每日々々法廷なり控所なりで顔を合はすが故に法廷の公なる職務を執る時と法廷を出でたる後の心理狀態を劃然區別して業を執ることが出來るので此社會の事を知らぬものゝ樣に疑へば殆んど限りの無いもので又法廷での爭ひを何時迄も根に持ちて今日を過すことゝなれば辯護士同士は常に喧嘩をして世を過さなくてはならぬ其處は役者が定九郞となり勘平となる樣のもので舞臺のことゝ部屋のことゝは心理狀態が全く異るものである世間の方々は此點は安心して可なりで中々我々が左樣な位に自分の名譽心と自負心と地位を賣れるものではない

○マー您んな感想は申さば際限がない事で面白い事も可笑い事も想へば十年前は夢の樣である（完）

大田

▲簡易工業學校開校 大田簡易工業學校々長は去る十七日附を以て中村藤太郎氏任命されたるが同校は來る二十七日道長官臨席の上開校式を擧行する筈因みに同校舍は不日大田公立普通學校內に增築する事となるべし

▲庶務主任會議 忠南道廳にては來る二十九日より三日間各郡庶務主任を召集し事務上の打合せを爲すべしと

▲上林道長官巡視 忠南第一區小學校聯合運動會臨席の爲め來田中なりし上林道長官は二十日午前大田、大田川の工事及び大興橋を視察し午後儒城街道の工事巡視の上大田に引き返し二十一日歸任の筈

▲鐵道改修工事 鐵道改修工事は工費二十二萬六千三百九十八圓にして既に去る十日より工事に着手せり

▲機關庫事務室 曩に火災に罹りたる大田機關庫事務室は目下建築設計中なるが來月中には全部の落成を見るべし

▲鐵道宿舍工事 大田市外連孝里に建築せらるべき鐵道宿舍は既に基礎工事八分方進捗したるが不日建設の請負入札あるべく家屋は家族持ち二十四戶分及び合宿一棟なりと

平壤產石灰の賣出し

小田セメント會社平壤支店製造の石灰は其品質純白にして良好なること內地產を凌駕し建設其他の關係上低廉にして京城倉庫渡六斗入一圓七錢にて提供する由なるが大口又は地方は特に勉强なす由なりと尙は廣告欄の一圓七錢は一圓七錢の誤植につき訂正す

人事消息

▲臼井水城氏（辯護士）母堂の計音に接し廿一日朝長崎へ向け出發
▲山本三朗氏（廣島中國新聞社長）廿一日朝入京山本旅館へ
▲伊森賢三氏（新任總督府技師）廿一日朝入京
▲原田領治氏（三菱倉庫部員）廿一日朝退京元山へ
▲宮崎仕太郞氏（滿洲軍參謀）廿一日朝入京浦尾へ
▲島川京畿支部長 往復約二週間の豫定にて二十二日九時四十分發列車にて滿洲に赴き大連奉天撫順各地を視察すべし

九州見物（十七）
碧溪生
筏流し

熊本より鹿兒島に向ひ、八代驛以南人吉までは球磨川流域にして、此間三十二哩、汽車は球磨の溯流に窓を洗はれつゝ、白石に到れば、山容水態悉く中央線の木曾山中より秀絕し

○畫題に富む 一勝地までは眞に絕勝にして、蛟蜒時ち、水勢急激し、景色の變化送迎に遑なからしむ、一勝地には男落岩、清正公岩、鉈倒石等あり、此處に來り天險を併せんとして、此處に來り天險の征す可らざるを知り軍を旋しと處、煤煙襟を襲ふにも拘らず窓を開き眼を放てば、急湍に隨つて風の如く疾き筏を觀る、岩角水勢を遮ぎり

○飛沫飛ぶ中を、筏夫は嘯ね煙管にて櫓を操る、鴨綠江筏のみ知りて未だ鴨綠江を知らざる者は、斯る自然の間より、彼の天然に對する感激と、雄々しさと、鴨綠江節の哀々たる哀調を帶びたる、鴨綠江節が產れ出でたるならんと、[illegible]中にあつて詩境の人となり、遙かに白頭山下、無學詩人の自然生活を想像せしめられたり。

南蠻鴃舌の國

人吉驛にて玖磨川に訣別し、平野を觀る遑もなく、息せき切つて山又山の間を馳登る、人吉矢嶽間は三十三分の一の急傾斜と言へば、機關車の御苦勞も並大抵ならず

◎隧道五十餘 を通過して矢嶽に達すれば、此處よりは鹿兒島まで下りのみなり、一瞬千里の速力を以て吉松を過ぐれば、櫻島の煙もなければ窓を開放して霧島の雲の中に聳ゆるを見る、[illegible]の眺めを恣にしつゝ國分を過ぐれば、旅館に[illegible]薩摩鹿兒島の人となる、旅館に就けば年頭の女中三四人出で來り、客に向ふ時は日本語を以てし、互同士にては南蠻鴃舌を以て用を便ず

◎其の音聲 雀の囀づるが如く、一向に要領を得ず、されど之は我々の豫期せし處なれば却つて滑稽味あり、異國情味あり、食後早速女中を語學の教師として『御前樣』と、『私』と、『所に、散步すれば人が見てゐますね』と、咽喉を張り青筋を立てゝ鴃舌を弄す旅にしあれば老人も青年もなし『非常に疲れた』と言ひつゝも夜の更くるを知らざりしは滑稽至極なりし。

十一月一日現行

●平安丸は爆沈したか
獨探のため浦鹽港内にて

朝鮮郵船會社所有船平安丸（千五百噸）は大豆、豆粕積取の爲入港せんとする際同灣前にて獨探の爲め爆發藥にて爆沈されたりと敦賀港主に入電ありたりとの報あり（大阪特電）

▼何等通知なし

平安丸爆沈に就き大阪商船には何等の通知なしと（大阪特電）

▼入港が遅れた爲の訛傳か
＝天候險惡で電信不通＝　朝郵川田課長曰く

朝鮮郵船會社汽船平安丸（一千五百餘噸）の浦鹽に於ける爆沈説に就き朝郵文書課長川田治一氏は曰く會社は未だ何等左様な通知に接しませんが然し京城日報の電報並に東京大阪方面からの問ひ合せにより目下浦鹽その他關係方面に

◆急電を發して取調べ中です若しコレが事實なら會社にとりては勿論又國家的の大問題ですが恐らく訛傳でせう何故ならば平安丸は定期表によりますと二十日午前六時浦鹽に入港する筈ですが浦鹽を出てから海上の天候險惡なるため十九日北海の風浪を雄基灣の西水羅に避けてゐて二十日午前四時に、

◆西水羅を出帆したと云ふ電報が確に會社に參つてゐます乃で西水羅から浦鹽迄の航程を約十時間と見れば大差はありませんから平安丸が浦鹽に入つたのは廿日の午後二時頃になつたでせう、つまり朝の六時に入る筈の平安丸が午後二時までも入らなんだからそこに色々の疑ひが起つたのでせう又電信線も不通だつたから

◆入港が遅れると云ふやうな通知も浦鹽の朝郵扱店に行かなかつたのでせう、と申すのは平安丸の爆沈したと云ふ報は十九日と云ふ説（京城日報）と二十日朝と云ふ説（市内某所入電）であつて乃ち平安丸の浦鹽に入港しだと思ふ時間とあひません尙ほ同船の積荷は約二千個二百噸ばかりです

▼例の僞電事件ではないか

朝郵平安丸の爆沈説について朝鮮郵船の某高級社員曰くどうも平安丸の爆沈説は怪しい、强ひて考へれば同船が西水羅を出て浦鹽航行の途中

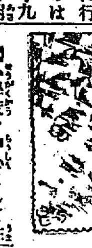
◆獨系か露系かの腹黒者が乘り込んでゐて船中で爆藥を用ゐたとも厭されるがそれにしては餘り電報が早く内地に入りすぎてゐる、恐らくそんな事はあるまいで何故そんな説が出たかと云ふに或は平安丸の沈んだと云ふ説を流布して

◆浦鹽方面の形勢急を一般に誤信させそこに大きい意味の時局熱を煽り物價株式の變動を起させ不當利得をしやうと企らんだ者の僞電であるまいか、聞く所によると今春來出兵説の傳はつた時それを惡惑して乾物などの買占めをやり案外風雲が穩やかに過ぎさうなのでデカイ損をした連中が可なり

◆内地の阪神筋にあるらしい、又海運界や紡績界に左様な一の强い材料を與へて株に狂ひを立たせそこに利を獲やうとしたのではあるまいか、去年僞電で日本郵船の淡路丸沈沒説を傳へた株屋と某新聞記者があり日本郵船

◆株を下落させそれを買つて一儲けしたが結局は僞電事件で檢擧された今度の平安丸爆沈說はタトヒ僞電としても前述のやうな大きい所を覘つてゐるのであつて朝郵株をどうかう云ふのではなからう、ナゼなれば朝郵の株は二十五圓

◆拂込み濟のものが三十七八圓を上下してゐる位で此頃四十圓以上に買ひたいと云ふ希望者も内地から出たには出たがまだ實際の取引はないであらう、又會社の株式は六萬株中浮動してゐるのは極めて僅かで思惑の材料にするには餘りに小さ過ぎるからである



兒童保護者會
＝仁川尋常高等小學校＝

◘小學校を中心として生れた保護者會なるものは中等學校などよりも大なる使命と幾多の事業を持つて居ります、しかしその最も堅實でなくてはならぬ保護者會なるものが多くは有名無實であつて、せい〴〵一學期に一回か若しくは二回位ゐほんの申わけ的な父兄會を開くに過ぎない事は國家の中堅たる兒童を敎育する上に於て悲むべき現象であると思ひます

◘仁川尋常高等小學校通學區域の父兄達から組織されてある保護者會はこの點に於て實に充實したものだと思ひます、近來各地の學校から問合せが來るとか、本校から他の地に轉じた敎師は常に中心となつてこの種の會の新設に盡すといふ事實に見てもこれが範を垂れて居ることを知ることが出來ますでこの會の第一目的として兒童修學上の便利を圖り學校と家庭の連絡機關となるは勿論でありますが、其目的を達するために

◘兒童の學用品の統一を圖り共同購買の方法に依つて兒童學用品の購入のために便益を、貧困なる兒童に對しては學用品の給與又は貸與をなし、兒童奬學の方法を講じ、尙學校と家庭の連絡、其他敎育上便益を與ふる事業の援助等をなすと云ふわけで、現に同會が全兒童に給與して居る物としては半紙毎月三十五枚、國語算術雜記帳毎學期二冊

◘鉛筆尋二以下は毎月一本、三年以上は廿日に一本、大筆隔月一本、小筆同、書用紙毎月四枚等が重なるもので硯の如きも今後三箇年にて千六百の全兒童に供與すべき數を充すとの事でありますその他墨汁、算盤、手工用具及び材料等は必要に應じて貸與しこの外困窮者、貧困兒童給與品費、修學旅行費補助等をなして修學上非常の貢獻をなして居るのであります

◘私は今まで學校の先生達が學用品の販賣について關係して居られる事を面白からぬ事だと反對の意見を持つて居りましたのでしたが仁川保護者會のこの種の共同購買はそれと方法も違ひ兒童に及ぼす害も全く從つてこれの効果を信じてゐます、要するに學校敎員は敎へるのみを以つて責任とせず、敎養上すべての方面に向つて大に考究をして貰ひたいものであります（某敎育家談）

▼華麗な汽船
朝郵の一等船

平安丸は神戸川崎造船所の建造で昨年七月原田朝郵會長のお孫さんに當る花のやうな令孃の手によつて進水した鐵船である、總噸數千五百速力十一浬流石會社が費用惜まず建造したと云ふ丈あつて客室も立派なら設備も完全、殊に一等室なぞは關釜連絡船にも劣らぬ程華麗を極め食堂を兼ねたものではあるが喫煙室もあれば浴室も附いて居る、正に維れ海上に浮ぶ金殿玉樓……鐵價の暴騰した此頃では百萬圓積んだところで到底コンな立派な汽船は出來さうもない乘客定員は一等十一人二等三十四人三等四百十一人、ザツと五百に近ひパッセンヂャーを樂に收容する事が出來、貨物は千七百噸まで搭載し得る、爆沈説が事實とすれば誠に惜むべきことである

▼氣さくで面白い
老練な船長
酒仙の様な機關長　事務長は交際家！

平安丸の船長は稲瀬直太郎と云つて柔和な面貌の持ち主、鬢髮にお〳〵籍白く一見して經驗に富める人なる事を思はせる船長は航海業者が鬼門として最も恐れて居る瀨戸内海で鍊へ上げ更に

◇歐洲航路で磨きをかけた人、凡そ海の事なら千尋の底の岩の數迄知つて居る程の老練家である、非常に氣さくなお爺さんで好く奇抜な洒落を云つては人を笑はせる、機關長は明石と云ふ名に背かず赭ら顏の見るから元氣らしい人知々酒が好きで盃に對してニコ〳〵しながら獨徳利を傾けるところ如何にも酒仙の面影がある、又事務長の小西氏は

◇眉目秀麗の好男子、低い聲で諄々として語ると云ふ方だが却々の交際家、一船の女房役としては誠にお誂へ向きの人物であるが機關長同様酒は好きだが假にも醉つ拂つた爲めに職務を懈ると云ふ樣なことはない、家族は船長と事務長は大阪に機關長は下關において居るが平安丸爆沈の報に接して如何に胸を痛めて居るとであらう

天勝とサトラの梗概

來る二十三日より黃金館で松旭齋天勝の演ずる『サトラ』は西本朝春氏の作で材を印度古代史に採つた神秘的悲歌劇である今其梗概を記せば印度ルデヤナ國の王女サンヒータ姫は夙に其臣下カルダーサといふ勇者と深い戀に陷つて居るので當時飛ぶ鳥をも落す勢ひある波斯帝國の太子ダリヤスの切なる所望を斥け、私に王城を逃れ出でブラマン長者の娘サトラと僞稱してネパール國王の信用を得、火神アグニの神燈守といふ大切な役目を勵め早くも三年の月日を送つた、然るに其頃祇園精舍にありて衆生濟度の大願を起せる釋迦は、一日其弟子目連尊者に若い侍僧を附て國王の許に遣はし、サトラの經歴を告げ且つダリヤスは戀の叶はぬ意趣返しにルデヤナ國に攻め入り國王始め一族の者を拘禁しサンヒータの行方を探して居る、此際姫が故國に歸らずば王座は勿論一族の運命も計り知るべからずとて國王に姫の放還を乞ふ國王も姫の身の上に痛く同情したがさりとて此神燈守を代へる場合には何人かを犧牲にしなければならぬと云ふ嚴しい掟があるので躊躇する一方身も心も神に捧げてゐる姫は少しも尊者の言を耳に傾けないので尊者も空しく此處を辭去り王も續いて内に入る、後に殘つた姫は一旦尊者の言を斥けたものゝ流石恩愛の情に堪へず、故郷の空を眺めて愁歎して居る處へ先の若い侍僧周章しく入り來り自分は姿こそ變れ臣下のカルダーサである、今は一切の煩惱を絶ち佛門に歸依して居るが、先刻尊者の申された通り姫君には一刻も早く故山に歸り父君始め一族の命を助けられよと歎願する、姫は自分の一身は神に捧げたるもの、妾を不憫と思はゞそなたこそ今一度元の武士に立歸り、ルデヤナ國を救はれよと勵ます、カルダーサは遂に姫の言に從ひ、兩人感極まりて相抱擁せんとするや、今迄晃々として輝ける神燈は忽然として消滅す、茲に於て殿中大騷ぎとなりカルダーサは痛ましくも神の犧牲となり其首級は神前に供へらる、王は姫の歸國を許す姫は姫の首級を抱き悲歎に默じ、神火再びかきくれつゝ故郷に歸らんとす、時恰も祇園精舍の鐘の音諸行無常を告げ渡りて幕

●貨物列車顚覆脱線
乘員死傷なし　安奉線の椿事

廿日午後六時草家口發の六百四號貨物列車は同驛南二哩の地點にて崖崩れの爲め顚覆脱線せり是れが爲め奉天安東兩驛より同夜發車せる旅客列車は同地にて乘客の徒歩連絡を爲したる上各四時間半遅れて引返せり復舊は二十二日夜迄の見込にして同夜十時奉天發列車は平常の如く通過し得可しと云ふ因に乘員には死傷者なし（奉天特電）

●水商罷業
鎭南浦水攻め

廿一日朝來鎭南浦水商五十餘名一齊に罷業したるため市中には飮料水更に無く困難の極にあり市民の有志は目下善後策を講じつゝあり（鎭南浦特電）

●金庫破犯人
嫌疑者二名

既報鎭南浦郵便所へ賊忍び入り官金八千餘圓を金庫ぐるみ窃取した事件に對し其後極力犯人嚴探中の處去る十八日新義州署の手に現金三千圓餘を携帯せる二名の鮮人逮捕せられ目下取調中なるが此二鮮人こそ鎭南浦郵便所の金庫破り犯人ならんとの見込あり急報に接したる鎭南浦署より久木田巡査二十日朝同地に急行せり（鎭南浦）

●鮮人不良少年

十八日釜山署へ年齢五十歳位の鮮人が四人の不良鮮人少年を引張つて來て係官に向ひ自分は草梁洞五六九人夫頭張春三（五〇）といふ者でありますが此の不良少年中の一人水晶洞崔仁美長男崔鳳伊（一二）といふ小僧は今まで電車の中で一圓紙幣を二枚出して回數乘車券を買ひしのみならず懐ろに數十圓を所持してゐるので怪しいから伴れの小僧まで同行して連れて來た次第ですと申立てたので郵務部が此の崔鳳伊を取調べると果して此の金は埋立地鐵道院倉庫取近で金四十二圓入の財布を拾ひ中の金のみ取つて財布は共同便所へ棄てゝ了つた事が判つたが猶ほ此の小僧は過日の鉛窃盜事件にも關係があるとかで餘罪を取調中である（釜山）

大掃除
＝二十二日＝

京城本町署管内左記町内は本年大掃除を施行すべし
水標町、笠井町、黄金町一二三丁目一部、三角町、水下町、茶屋町、長橋町、南大門通

●陽德の豹狩り

平南陽德郡化村面雙年里附近には昨年十月以來ヌクテーの出沒多く爲めに里民恐怖して夜間は戸を固く鎖して外出する者とて無く幼豚、鷄等の被害頻々なるより同地憲兵分遣所長は特別狩獵免狀所有者金鳳達に之れが捕獲を奬勵したる處鳳は四月十日里民五十名餘の勢子を引連れ所在地の山頂に上り岩石の間に潜伏し一方勢子は山麓より鬨を作りて狩り立て山腹の松蔭より現はれたる三頭の大ヌクテーの内二頭を倒したりしが一頭は何處ともなく逃げ去れり（平壤）

●天勝一行の乘込
▽廿一日夜南大門驛著

魔奇術の權威松旭齋天勝は多くの美人を擁し二十一日午後七時四十分南大門驛著列車にて太田より京城に乘り込み驛前にて少憩の上數十臺の俥を連ねて花々しく乘込みを成し二十三日より黄金館に出演すべく初日番組は左の如し

△音樂合奏（娘子軍）△お關染の曲藝△小奇術數種△印度古典舞踊悲劇神燈守△各國流行ダンス△トーダンス△金線上の大曲技△滑稽奇術種明し△米國最新式大小魔術△奇術應用喜歌劇平和の女神

◘端西土産　記事輻輳に付本日休載す

●銀行集會所舟遊會
仁川八尾島附近に

京城銀行集會所員有志約五十名は來る二十六日仁川沖八尾島附近に於て大規模なる舟遊會を催し美濃部鮮銀總裁及び理事局課長滿鐵幹部市内銀行會社の各首腦連殆ど全部參加の由にて立網其他の漁具漁船を用意し一同は午前六時京城出發午後六時京城歸著の豫定なりと

●碁戰譜

既報二十日京城倶樂部に於いて開きたる我社主催圍棋會の席上五段關源吉氏對三段山平壽氏の碁戰譜は二十二日朝刊（四面）より連載すべし

讀者文藝（一等には五十錢の懸賞券を呈す）

△謎『停車場とかけて』
一等なし

△新聞社と解く心は記者（汽車）が出入する（京城　松永りう子）

△京城では昨今各所に散水法を實行して居るが數年前までは勵行に困難を感じたものだつたが内地に於ける大阪などでは[illegible]

好もし頃

[illegible]

課題及び募集規定

□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に難題又は課題一種に限り住所氏名明記の事▲一等

商況

東京期米特電

二十一日前場	
一番	二十五圓四十錢
二番	二十錢

兵庫期米

二十一日前場　未著

大阪株式特電

銘柄	拂込	二十日後場	前引
戸市川水	五〇、〇〇	—	—
京阪電氣	五〇、〇〇	—	—
東洋紡績	五〇、〇〇	一三三、五〇	—
合同紡績	五〇、〇〇	八〇、〇〇	—
福島紡績	二〇、〇〇	一三五、五〇	—
同上新株	五〇、〇〇	一二五、八〇	—
東洋製罐	五〇、〇〇	—	—
大阪商船	五〇、〇〇	一五五、四〇	—
日本郵船	五〇、〇〇	一三〇、一〇	—
同上新株	五〇、〇〇	—	—
堂島米穀	五〇、〇〇	一四三、七〇	—
東京株式	三五、〇〇	—	—
大阪株式	五七、三〇	一六一、〇〇	—

大阪三品特電

二十一日前場		
五月限	三二四、九五	
六月限	三二九、〇五	
七月限	三三一、〇〇	
八月限	三三一、〇〇	
九月限	三三三、五五	
十月限	三三四、〇〇	

大阪期米特電

二十一日前場　未著

下關期米特電

二十一日前場	當限	中限	先限
高値	—	三五、六八	三四、五一
安値	—	三五、六九	三四、四四
寄付	—	三五、六六	三四、四〇
止め	—	—	三四、五一

雜報

●三品更に下押

昨前場小安戻の大阪三品は更に不勢を示し當限は二十二圓九十五錢先限は三十三圓九十錢と前報より大引は約六圓安を示せり

綿布龍レ十圓

現物は平澤十六手三百二十五圓、四十手二百九十五

八十錢三銘

九龍九十錢、[illegible]六十五錢

先物十圓九十五錢安を告げたり

●正米持合氣迷

定期米は昨後場に至り急激の反撥を喚び生じたるより軟化模樣の正米も急に氣迷ひを生じ賣人所々强腰となりつゝあるも籾米口は依然高値を保ちつゝあるも未だ市況硬化するに至らず氣配持合ひの裡に觀測を迷はしめ居れり而して外米賣出し入れ出込み非常に多く早くも買切れの姿を呈し居れり既報下の關入荷の如く買れの姿にて案に外部要を喚起せしが如し昨期米の反撥は弱材料の暗ひしたる且つ正米との採算買再燃が主因となりしものなるも又外米の買出し數量が抑待程に多からざりしより之が買切れ後の内地米硬化見越しも加はり居れるか如くにて[illegible]

●硝子器高氣配

硝子器は原料騰及製造費高にて價の騰貴せる上運賃の關係等も加はりて夏向器類は前年に比し總じて二三割高にて[illegible]

二三割上

●清酒好氣配

清酒は既に追々入荷せるが内地好配の爲め例年の例に反して本年は値下げなく古酒同値を維持せるのみならず醸造元にて幾分の上鞘を報ぜる向ありて何れにしても市中は當分現狀維持の外なきも結局薄火の値上は免かれざるべしと

協定纏る

[illegible]一打に付九十五錢以上を唱ふるに至れり洋燈類は閑散期に向ひ且つ在來の手持ある[illegible]なれば相場變らず

●肉類は上間へ

値上がりの影響と魚類相場の低落に一般需要大に減じたる上生牛の内地移出も閑散となりし爲め其後相場も落付模樣を示せるが農繁の時期なると肉類需要の減退せる折柄當地屠殺牛の數も一日平均僅かに二十頭內外を出でされば市中の牛肉出廻りは常に拂底勝にて且つ生牛も安からざれば未だ肉類相場の低落を見るに至らず今後生牛の内地移出の模樣により如何に變動するや計り難しと雖も今日の處にては先づ頭打ちともいふべき市況なり

●燐寸は上惱み

燐寸は軸木其他の材料高にて内地益々高模樣を報ぜり昨今の市中唱値は安全大箱十三圓三十錢黄燐一噸五十二圓見當なるが實際取引は兎角此値に添はず併し現下の大阪相場より打算すれば著値五十三圓以上に當るを以つて尙一段の引上げを敢行せん模樣なり

下關相場

▲朝鮮米は保合　共後出廻り途切れたると產地も兎角安からずして不引合な折柄に各米共安くは手放さざるもの、如し然れども一向買氣進まずして市況引立たず之れが爲め當地の出來値は前報頭模樣なり
▲小豆は弱保合　共後北海大納言二十五俵の廻着に過ぎずして別に賣り急ぎ物あらずと雖も何分賣先筋は安見越しを以て只管買人の手控へ居る爲め賣れ行き鈍にして市況引立たず之れが小口の出來値は前報同模樣なり

㋒　内海仲買店
仁川米豆取引所仲買人　仁川本町
電話長六一五番六三二番　電略（〇ウ）又ハ（ウ）

▲大豆は依然不味　前報後出廻り途切れたるも産地の形勢不良にあると既報したる如き市情の下に自然買氣の進まざる爲め兎角賣れ行き捗々しからずして相變らず人氣不味を呈し居れり
▲肥料の現況　魚肥は依然出廻り多からずと雖も何分米價の形勢不良にあると豆粕も又不味の商情にあるに加へ北海產地も兎角不況の情報ある杯自然買人の手控へ居れる爲め矢張見るべき商內行はれずして市況面白からず然れども屢々記載する如く來月にも入らば常に買氣を促し來るならんとの氣構へを以て別に賣り急ぎ物も又現はれざるものゝ如し而して北後の輸入は大羽鰯粕五十本中羽鰯粕八十本鰯頭粕七十本位なり豆粕は各地の如何にも拘はらず兎角買氣進まずして其後市況不味の狀態にあり尙ほ其他の肥料も依然賣れ行き鈍にして下入氣薄弱にあり而して當時粕二千メ許りは三圓九十八錢に手合せ行はれたり

南大門の廻穀

▲粉類　[illegible]
平澤白米二三五叺　新義州小豆六叺　全谷小豆三九叺　烏山玄米五六叺　宜川大豆三五叺　水原胡麻六七叺　平澤胡麻二七叺　烏山白米一七六叺　元山黍一五叺　烏山白米一七六叺

仁川正米

▲正米は別段變る模樣なく先期高を受けて賣方見送り居るも買人も進まず氣勢なく結局目前合の姿にて商談行はれず
▲籾の入荷ポツ〳〵あり相場は弱含み六錢在來種五錢八九厘にて商談行はれたり

釜山穀物（十七日）

週落品は日々相當ある事とて從て今市場賣り物としては[illegible]

午後期米の反撥に

如く不勢を報じたるも

正米界は前報

買物顯はれたる今の態度

仁川期米

▲二十一日前場（頭重し）

▲第一節各地前寄未着にて當地寄付先二十一圓九十錢さ十二錢高に寄付きたるも買物多く徐々に十錢さ押し六錢さ掘
▲第二節寄二十一圓八十錢中二十一錢九十二錢先八十六錢より賣物更に多く一錢さ氣崩したるが買物漸く多く四錢さ返し三錢引
▲第三節寄出來不申中九十二錢より八十二錢さ押し四錢さ返し三錢引
▲第四節寄七十八錢より八十五錢中八十四錢先八十三錢より四錢さ跳れ二錢さ押して引
▲第五節寄出來不申中八十三錢先八十二錢より三錢さ跳れ二三錢を採み三錢と

伸惱みの成行を示して散會

▲二十一日前場當限㊀二十一圓八十錢㊁七十八錢八十五錢平均値段八十三錢
▲中限㊀二十一圓九十二錢㊃九十二錢八十二錢三錢二錢平均値段八十五錢
▲先限㊀二十一圓九十錢㊄八十四錢㊄八十三錢

市場雜觀

▲昨後場は大阪前止八十九錢東京八十七錢兵庫九十二錢下の關五十九錢後寄兵庫五圓〇九錢の入電にて當地二十一圓六十五錢さ十錢高に寄付きたるも買物多く八十錢と上伸せしが戻りは又賣物現はれ七十六錢さ押して七八錢を採み合ひ

大五仲買店
仁川米豆取引所
店主　猪飼政太郎
營業案内　電話　長三九番　自宅六〇一番

急激六十三錢戻

大阪の强硬に

引替へ

不鮮明

▲今朝天候晴天各地前寄未着にて二十一圓九十錢さ寄付きたるも買物多く八十錢[illegible]

大阪の反撥高に就

種々說

圏　仲買店
仁川米豆取引所仲買人
電話二八二番
電略シ又はカクシ

全高田仲買店
株式會社仁川米豆取引所仲買人
[illegible]

仁川米豆取引所
二十一日の七月限

前場		平均値	
寄付	二十一圓八十錢	一節	[illegible]
止メ	二十一圓九十錢	二節	[illegible]
高値	二十一圓九十二錢	三節	[illegible]
安値	二十一圓八十錢	四節	[illegible]
出來高	[illegible]	五節	[illegible]

二十日後場　前日比
五月限　[illegible]
六月限　[illegible]
七月限　[illegible]

白米標準價

現金賣	
一等白米	二十七錢
二等白米	二十六錢五厘

小賣白米

二十六圓三十錢

永沼挺身隊の遺骨

◆奉天忠魂碑下に合祀せらる◆

◇露國戰役第十三年―蒙古の野に埋もれたる勇士の遺骨◇

「我れならで誰か訪ふべき蒙古路の奥に埋もる亡き友の塚」先日永沼中將が東蒙の新集廠に訪れた日露戰爭當時の挺身隊遺骨は十八日午後三時四十五分奉天驛着、直ちに新市街忠魂碑に奉祀した、此の日驛頭には督軍顧問菊池大佐、町野中佐を首め宮越警務署長、入江地方事務所長等の出迎へ者あり奉天軍隊側よりは獨立守備隊松本中佐以下の將校、現役守備隊よりは伊藤少佐以下の將校一同の出迎へがあり猶ほまた在郷軍人會からも分會旗を捧げて迎へた挺身隊勇士の遺骨は花環を盛れる汽車に運ばれ護衛の兵士及び開原獨立守備隊の中島大尉郷家屯の米澤中尉等が之れに附き添うて下車した、遺骨は一度奉天ヤマトホテルの待合室に安置され更に滿々たる春雨を衝いて忠魂碑納骨室に運ばれた、碑前の儀式は西本願寺の大内開教師以下奉天各宗佛教代表者によりて執行され參拜者一同燒香の上午後四時四十分式を了つた、猶ほ獨立守備隊及び第七師團現役隊よりも兵士の參拜ありて雨に打ちしめりたる式場は一入勇士の忠魂を弔ふかの如く見えた、また靈前に供へられたる花環の數々は遼原司令官始め獨立守備隊第二大隊將校一同、朝鮮銀行、四平街銀行團、四平街婦人會等の寄贈になるもの、あはれ東蒙に十三年前春風秋雨護國の鬼となつた勇士の魂も始めて數多の戰友と共に奉天忠魂碑内に祀られた譯である

米澤中尉曰く

東蒙古に遺骨を發掘に赴きし米澤中尉曰く『今度の遺骨は鄭家屯から十七八里北方の新集廠からまた五里ばかり張家窪子といふ所から掘り出しました、當時花々しい戰死を遂げた十八名の騎兵の中とんどの人々は左の九名です即ち弘前師團騎兵第八聯隊の第一中隊で騎兵軍曹津田彌京氏、新里伊八郎氏、村田重次郎氏、一等卒田村響吉氏、木村半助氏、柏村完次氏、齋藤幸次郎氏、渡邊氏、堀江金太郎氏

中隊は淺野大尉の第一中隊及び他の三個中隊の中より選抜して集めた中屋中隊となつて居ります、張窪子の村は現今は人家五六軒の部落で支那人は戰爭當時逃げ出しへ歸つて來ないといふ事です

發掘品の中には

黒い湖紗とか日本の五十錢銀貨とか絹の三尺帶などがありました

頭蓋骨に刀痕や

槍の痕のあるのも認めました

思ふにわが勇敢なる永沼挺身隊はあすこで猛烈果敢なる格鬪をやつたものと見られます、打ち見たところ四邊は一帶の蒙古の大平野で當時露國のドンカザックと渡り合た

雄たけびの聲が

今に耳底に聞こゆるやうです

永沼挺身隊はまだ風寒き明治卅八年の如月、僅かに二百騎の小部隊を以て敵の後背を襲うたのであります、進路は遼河を溯つて大賚にも長春附近の范家屯に出で彼遼

一帶の鐵道線路

破壊を企圖したものであります

而して巧みに敵の追撃を避けつゝ時には四日四晩も飲食を絶つて朔風寒き蒙古地に入りました、而して最早や逃れる道なしと覺悟し敵に向つて攻勢を執つたのであります、張家窪子の原では

追撃の敵を撃破し

砲四門を分捕つた事もあります

之れが爲め敵は我大部隊の軍と誤りミスチエンコの騎兵團をして鐵道線路の守備に努めしめました

挺身隊の偉功は

千載不朽と申されねばなりません

勇士の遺骨埋葬の地には先日永沼閣下も來られまして一つの墓標を立てられました這回吾々も大きな木標に『大日本帝國第一挺身隊忠死軍人之墓標』と記しました(奉天)

◇挺身隊遺骨奉祀◇

明治卅八年の如月深く東蒙古の地に入つた永沼挺身隊勇士の遺骨は十八日の午後奉天忠魂碑内に合祀された、哀畏は今し遼寧な祭壇に移しつゝあるところ

◉自作自給時代は 疾うに過ぎて

◆今日にては他方面へ供給◆

朝鮮全道に於て穀物其他の容器として消費せらるゝ叺の數量は總額約一千二百萬枚に達し其全消費量の内全羅北道管内消費量は實に約五百萬枚の多額を占む而して此等全鮮の消費叺は其大部分を内地産に仰ぎつゝありしは周知の事實なるが當局の自作自給政策の漸次徹底し鮮内産叺の増加を見ると共に内地産叺の輸入は減退せられ近時に至りては其輸入額約七百萬枚に減少し約五百萬枚は鮮内製産叺を自給するに至り殊に消費年額の全鮮に首位を占むる全羅北道は其製産額に於ても全鮮に首位を占め大正六年度に於ける全羅北道管内製産叺總數量は二百數十萬枚即ち全鮮製産總額の四割強に當り此の全羅北道産叺の品質産額を代表するは則ち沃溝郡叺なりとす沃溝郡内に於ける叺製産事業の創始せられたるは明治四十四年十月郡内羅浦面に繩叺製造組合として呱々の聲を揚げ爾來僅々六箇星霜其間大正三年四月臨陂産業組合となり大正五年十一月現在沃溝郡繩叺改良組合となり幾多組合組織の變遷を見たるも何該地方官民の努力は現在組合員八千有餘名叺織機の布給せるもの四千數百臺に及び大正三年度に於ける沃溝郡叺製産額十一萬三千枚なりしは翌大正四年度には二十五萬五千八百枚となり越ゑて大正五年度に至りては四十一萬五千枚に上り昨大正六年度は一躍遂に九十五萬七千餘枚を算するの盛況を見るに至れり試みに全北の呑吐港群山港に輸入せらるゝ内地叺の輸入額最近四箇年間の統計に就て見るに大正三年度輸入價額二十一萬圓なりしものが翌大正四年輸入額は其約三分一に減じ七萬七千圓となり越ゑて大正五年は更に半減し僅々六千圓に激減せられたるは三萬六千圓昨大正六年に至りては前記沃溝叺三箇年間の製産額向上の統計經路に對比せば瞭々として沃溝郡叺製産事業の驚くべき速度を以て改良發達したる事蹟を窺知するを得べく、斯くの如くして今や沃溝叺の聲價需要は全鮮に及びたるも就中新義州、鎭南浦、仁川、京城、元山、密陽、砂里院、開城は其重要なる消費地にして更に國境鴨綠江を超ゑ遠く滿洲に輸出されつゝありて組合當事者は尙大正七年度に於て沃溝叺百五十萬枚製産を豫期し歲を追ふて二三百萬五百萬枚の製産を期待し居れり(群山)

各地財信

◈新義州(平北)

新義州稅關支署の調査せる同地の四月中貿易額は輸移出四十一萬千五百八十七圓輸移入四十四萬二千二百二十六圓合計百三十五萬三千七百十三圓にして之を前年同月に比すれば三十五萬餘圓の激增を示し居れり而して主なる貿易は輸移出にては米、豆類、小麥、魚類等輸移入には粟、食鹽、石炭、小麥粉、文具類の小包郵便なりき

◉鈴木臼井聯合の 大豆買占と

―最後の勝敗―

大連滿鐵埠頭に於ける豆粕は同埠頭倉庫收容力の最大限度たる百五十萬枚に達し而かも一方積取船腹の拂底の爲め今後益々堆積を來すべく滿鐵會社にては大連油房聯合會に對し一日の搬入量を六萬枚と制限を附したるも之れとても積取船の廻著豫定の如くならざる場合には愈々保管の餘地なきに至るべきを以て埠頭にては油房業者と協議の上、野積保管を爲すに至るべく猶大連各油房にて製造する豆粕は一日十餘萬枚なるを以て毎日四萬餘の豆粕は各油房の構内に堆積し居る事と成れり埠頭に斯くの如き巨量の豆粕の堆積を來したるは鈴木商店大連出張所臼井洋行共同にて買占を行ひ各油房は五月十五日限りの受渡しの爲め晝夜不休の姿にて製造を急ぎたる結果製品は期日迄に受渡し量を遙かに超過し一時約束の量に達せざるべく鈴木、臼井方は此の弱點を見越して聯合ひを豫期しての買占めなるべしと一般に觀測せられたるが期日に及び買方の受腰も案外強く又買方たる各油房の生産力も意外に旺盛なりしと一方前記の如く船腹拂底の爲め多大の堆積を見るに至れり以上の如く五月限り買占は一段落を告げたるも前記の如く埠頭に於ける混合保管は收容限度五百五十萬枚を超ゑ在荷潤澤と云ふよりも寧ろ買占め方の鈴木臼井は聊か持餘し氣味なるも行懸り上船腹の如何に拘らず當分大なる輸出を見るに至らざるべきも一方油房は何れも多額の先物を賣込み居る爲め生産制限を爲し能はざると目下の大豆相場を以てすれば採算上頗る有利なるを以て製造能力を盡して一日約十二三萬を製造し當分此の現狀は持續せらるゝと見るを得べく隨つて埠頭の混合保管を得ざる豆粕毎日約四五萬枚に至るべく之が處分を現品賣買として取引せしめ買方は現品を受取り埠頭の手を經ず直接船積を爲し輸出せんとする計畫に

◉新豌豆とバナナ

新豌豆は昨今平壤市場への出廻り漸々あり殊に廣島産の物入荷を見る目下一貫目二圓見當を唱へ向後入荷毎に若干らか廉安くなるべく又た新緑と共に漸くバナナの季節に入り平壤市場へも若干らか入荷を見たるが本年は本品の内地市場に於ける氣配好調なるが爲め市價騰貴し昨年一貫目一圓内外の物は本年一圓四五十錢見當にて氣配强硬の氣勢へなりき(平壤)

◉平南鑛産額

平安南道に於ける大正六年度鑛産額は五百三十二萬三千二百六十二圓にして之が鑛區は二百六十二鑛區なるも内六年度に於て採掘作業に從事せざるものあり依つて本年に於ては何れも之が採掘に從事すべければ其鑛産額も著しく增進するや明かなり今左に鑛石種別及び鑛産額を示さん

金鑛	[illegible]
金銀鑛	[illegible]
黒鉛	[illegible]
石炭	[illegible]
金鉛鑛	[illegible]
銅鐵	[illegible]
銀鉛鑛	[illegible]
安質母尼	[illegible]
砂金鑛	[illegible]
金銀鉛亞鉛銅	[illegible]

◉平北の漁業組合

平安北道に於て漁業者に對して投資したる鮮人三十一名にして其の金額一萬三千五百七十圓に達し内地人百二名は四千七百七十六圓なりしと(新義州)

◉奥の花の郷

◆遂に一月後れの花見◆

毎歲の春に數年來行ひ來れる四平街驛の花見會は毎年勸業の都合上二日間に渉り西北方約三十丁の地なる梨花の郷と呼ばれたる地に於て全村梨花林檎の花を以て花見會を催ふす事なるが毎年の當日は各方面の重なる人士を招待し且つ四平街各旅亭は藝酌婦を出して斡旋せしめ來れるが本年は例年より稍遲れて去る十五六兩日の事とて杏の花は既に枝を辭せしも尙林檎及び梨花は今を盛りと咲き誇りゐたれば新緑の野に席を設けての花の宴は萬事に長閑風景なる滿洲として他に得られざる趣きに互に打寬ぎ相興じ何れも歸るを忘れん計りなりき(四平街)

戰塵一束

◆實力なき過激派◆

◆セ軍を恐るゝこと最も甚だし◆

セミヨーノフ軍に肉薄されつゝあるチタの過激派は目下如何なる狀態にありやと云ふに、元來チタにける過激派兵士は兵士として充分なる訓練もなき烏合の衆に等しきのみか、其の大部分は軟弱なる少年兵士かさもなくば元氣將に衰へんとする老兵によつて組織されゐるなり、斯の如き劣弱なる兵力をして益々其の力を弱めしものは杖とも柱とも頼む獨墺俘虜中に反過激派思想の漸く起り始めし事也されば彼等がセミヨーノフ軍の來襲急なりとの報に接して驚愕せしも道理なり、之れに就きチタより來りたる者の談に依れば同地過激派は早くもセミヨーノフ軍と談判を爲すべき決議を爲したりとが又チタ過激派は同地が戰時狀態に入れることを布告し午後九時限り一切の燈火を消すべく命じたる等セ軍來襲を恐るゝ事實は非常なり尙聞く處に依るに過日ボルシヤチロヤンナヤがセ軍の爲め占領せらるゝや過激派軍の兵士等は田舍を迂回して漸くチタに逃げ來りたるがチタ過激派軍の幹部連は今は早イルクーツクへ落延びんと準備をなしつゝありと(哈爾賓)

衣裳美を發揮する 初夏の珍柄陳列會

今年初夏の御召物は大分色合も變つて參りました本社代理部は京城一流の各呉服店を網羅し涼しい、粹な新らしい柄ばかりを陳列當日限り京日愛讀者の爲め安價特賣を致します御散歩がてら入らして下さい

京日愛讀者の爲め本社を開放し新聞事業の實況御視察を願ふ傍ら生花、盆栽を陳列し初夏の一日をゆつくり茶菓を召上りながら遊んで戴くつもりです御家族御同伴是非お出かけ下さい

珍柄陳列會 青葉 二十五日 二十六日 二日間 於 本町青闌(三階) 京城日報社代理部 即賣致候

最新流行新柄澤山

生花=盆栽=展覽會 滿目たゞ新綠に醉ふ

主催 京城日報社

品質本位 花王石鹸は 進歩せる化學と 熟練せる技術と 精選せる原料との結晶なり

サクラビール 天勝孃

はビール界の霸王なり

◆廿三日から 黄金館で蓋を開ける奇術師天勝孃曰

◆夏の飲物として態度お客様のお氣に召すは……サクラビールよ

サクラビール 好く賣れるビールは 人氣実質好きビールは

は嶄新魔術で内外に響けり

天下一品 白鶴 增本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇一 九番

新式耐水調革 新田帶革 朝鮮總代理店 京城本町四丁目 白神洋行 仁川本町 白神洋行支店 新式バラタ調革 定價表申込次第送呈

川魚一式 本日より仕出仕候 京城旭町一丁目電話二〇四六 會席御料理 權平庵 中井ゆく

仁川期米 △二十一日後場 大阪電報來着にて當限二十一圓七十五錢中七十五錢先八十三錢と同 △中限一節二十一圓七十五錢二節七十五錢 △先限一節二十一圓八十三錢八十七十九錢八十錢七十八錢二節七十八錢九錢七錢六錢五錢四錢五錢

二十一日の七月限 後場 寄付 止め 高値 安値 二十一圓八十[illegible]錢 二十一圓七十七錢 二十一圓八十三錢 二十一圓七十四錢

入港新羅丸上陸一二等客 一等(十五名)河井松之介、中村辰五郎、同つれ、同節、同ひさ、辻醴之助、田口要、外人八名 二等(六十名)岡芳子、同みつ、山本鍛、田鍋、同そめ、同雪江、藤井虎彦、鈴木幹一、井[illegible] [illegible]

廿日午後入港博愛丸上陸一二等客 [illegible]

▲[illegible](川柳)夏羽織 ▲[illegible] ▲物は付『馬鹿らしいものは』廿六日 ▲[illegible]『大掃除さかけて』 廿三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 [illegible]

投稿は一週間以內に到着又は同號の見通告者には五十錢書籍券を呈す但何番何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

塚原卜傳

第八十二席

悟道軒圓玉口演

奥御殿は時ならぬ落花狼藉、半衞が驚ろいて叫ぶ聲に侍女共は立騒ぎ○『ソレ御部屋様の一大事』と手に手に薙刀守刀の鞘を拂つて馳寄つたが女の事でござりますから中々半之丞を對手に戰ふ譯には往かぬ只立騷ぐばかり、半之丞は是非共白妙を切らんと追廻はし〳〵屏風の隅へ追詰めて只一打と打下ろす一刀、アハヤ眞二つと見ゆる途端、早くも白妙が身を轉したに依つて屏風の縁へスパーリと切込んだ、南無三と一刀を抜かんとする際に白妙素早くバタ〳〵バタと逃出して行く、己れ逃して一大事と力を籠めて一刀を抜き取り、其儘跡を追つて廊下へ飛出す、二三間先きへ白妙が逃げて行くから　半『白妙待てッ』と聲を懸けて追懸けて行く、白妙は一生懸命　白『アレー助けてー』と叫びながら辷るやうに逃げて行く途端、此所へ馳付け來たつたのは別人ならぬ兄の宮越左内、手槍を引提げ片手に雪洞を持つて飛んで來たが半之丞の姿を見るより雪洞を投捨て、白妙を後ろへ圍ひ手槍を取直して　左『曲者待て』と一喝叫んだ、半之丞怒つて　半『邪魔立てなさば汝も道連れ覺悟をいたせ』と一刀を取直して切込んで來る、灯は消れて暗の廊下、左内ジッジリと槍を付けて居たが此男も佐分利流の槍は中々能く使ひます、跡へ〳〵と繰引きに引いて行くのを半之丞氣が焦いて居るから眞二ツにして呉れんと飛込んで切下ろす處を手早く下から突出した槍先、別に見當を付けたわけでもないが半之丞の股の根付をブッーリ突通した、アッと一聲繋がの半之丞もタヂ〳〵と蹌踉いて思はず後ろへ撞と倒れる、仕濟したりと左内槍を引抜いで置いて滅多突きに突いた半之丞起上らんと思へど急所の痛傷に堪り兼ね、殘念無念と叫びながら哀れむべし宮越左内の槍先に懸つて遂に息絶れたのは氣の毒の至り、生年十九歳花の蕾み一夜の嵐に散失せました、處へ大勢の若侍物音を聞いて手に手に雪洞を携へ獲物々々を取つて馳付けて參りまして見ると此仕末、其中に顔を見知つた者があるから○『ヤア曲者は京極主水の弟半之丞だ、何うして半之丞が奥御殿へ忍び入つたか何しろ大變な事をした』と大騒ぎ、白妙に聞いても白妙も緊が自分が引入れたとは言へませんから只何者とも知れず忍入つて自分を殺さうとしたとばかり言つて居ります、其中に此事を將軍家へ申上げましたから夜中ながら義輝公御出になり、先づ宮越が働きを賞したまひ、曲者が主水の弟とあらば其れは兄主水が諫言をして左内に打たれしを遺恨に思ひ、左内を殺さんとして忍び入つたものに相違あるまいといふことになつて、直ぐに主水を召捕れとの仰せ、若侍一同主水の屋敷へ夜中なれども上意を受けて押寄せて來る、此方は主水、弟半之丞が首尾よく討果たしたか何うかと首尾を氣遣つて居る處ろへ、乳母の木賀が飛込んで來て　木『大變でございます、今半之丞様が奥御殿へ忍込んで斯様々々遂に左内のために御落命なさいました』と息を切つての話し、アッと驚ろいて主水　主『南無三さては仕損じたか殘念の至り、弟決して犬死はさせぬぞ兄は一先づ立退くが必らず惡人輩を誅戮して汝の一念は晴らして遣はす、迷はず成佛して呉れ』と言作ら手早く支度して立退かんとする處ろへ隙もあらせず押寄せて來た若侍何れも岩成の組下の者共上意々々と叫んで乘込んで來る『主推參なり』と一刀を抜いて手當り次第に切倒し、十四五人薙伏せて一方を切破り、暗に姿を隱して其所を落延びましたがさして行く處は宇治の里三室戸寺の傍りに知己を尋ねて此所に忍んで居ります。

京　呉服
京都　たまや出張店
永樂町二丁目
電話二一九六番

人參ミルクキャラメル

院長　醫學士　森定吉
（芙蓉醫院改め）
内科　小兒科　森病院
入院隨意
京城明治町二丁目七五鶴田醫院跡
電話二六二三番

運勢

五月廿三日九星　四月十四日庚午
本命三碧　東　除　大安

▲三碧　心下名譽の爭を起さんとす謹で新事を見合ふ方は吉▲四綠　福の舞込む日轉居開業入婚…▲五黃　厄介な持込むる事有…▲六白…▲七赤　女難失物用心の日新事手控…▲八白　勃然と…▲九紫　…▲一白…▲二黑…大吉祥の日也…

中風病ちうき

余が家は祖父及び父母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統にして其悲き經驗より得たる良藥を郵券貳錢の方に限り名士題字の療養書無代進呈す詳細照會付千人に

兵庫縣明石中町　加古忠兵衞

演藝案内

壽館　京城本町　電話一〇五〇
▲浪花節　市川小梅一座…
前狂言　侠客野狐三次…
切狂言　義士傳…

有樂館　日活直營寫眞常設館　電話（階上）五九七番（階下）三〇五番
…

大正館　櫻井町　電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
○新派悲劇『春霞』全四巻…
○…『アンプローズの血眼』二巻…
○『戰時の女』全六巻…

黃金館　電話三六三七・三六六
天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
…▲舊劇『豐臣秀吉』…▲第三回　怪活劇『ミラの秘密』…▲新派悲劇『戀と戀』全三巻…

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番
…

質　大塚質店
京城明治町二丁目元曙町
電話一八四九
◎◎戰慄すべき火災の
多額の融通

Overland
TRADE MARK REG.

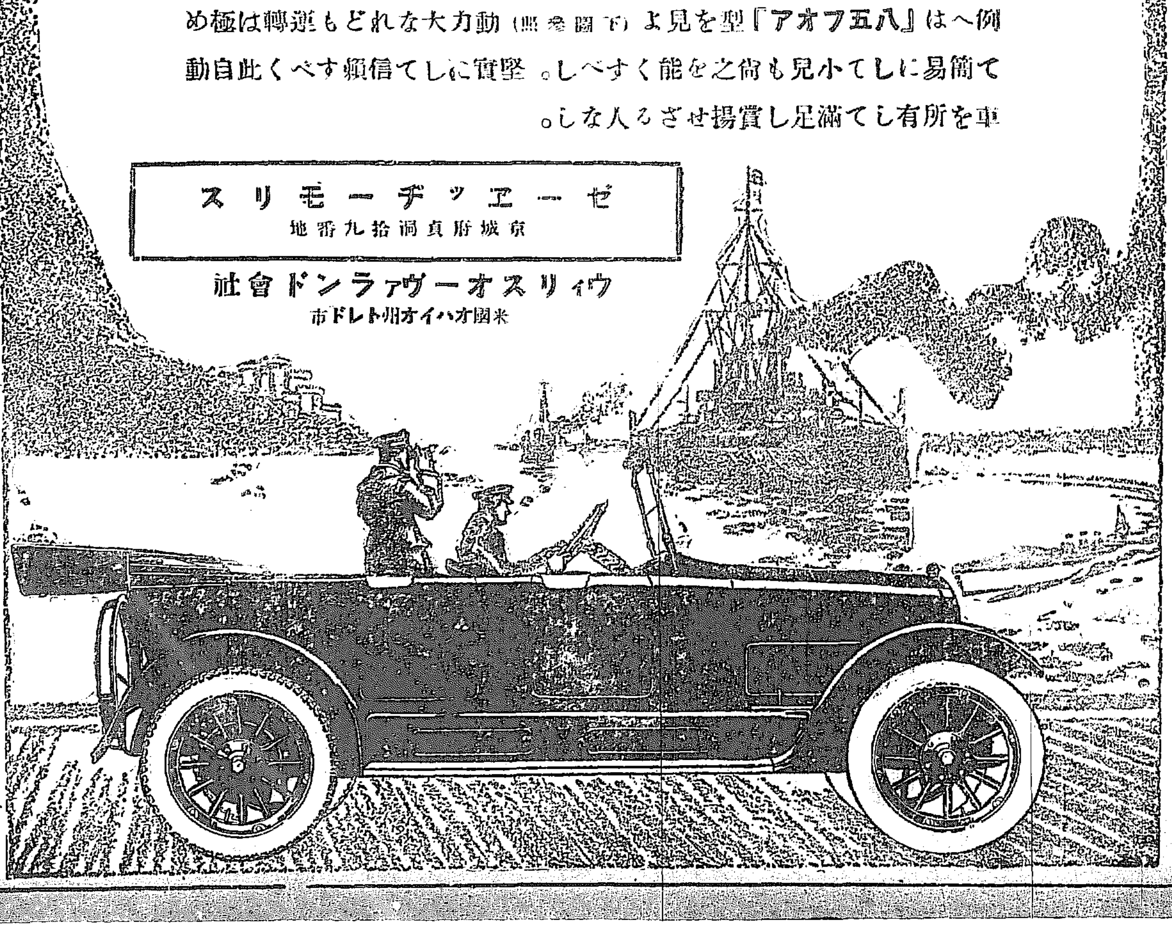
三千五百圓

昨年の賣高十五萬臺

オーヴァーランド自動車毎年の賣高は莫大也。世界各地に迄られたるも數千臺オーヴァーランド自動車は國際的也。其製造の規模大なるが爲めに其價格は他に比較すべきものなし。

外觀。運轉。乘心。實用。價格。此等理想的自動車の要點に於てオーヴァーランドは勝利を占めたり。

例へは『八五フオア』型を見よ（下圖參照）動力大なれども運轉は極めて簡易にして小兒も尚之を能くすべし。堅實にして信頼すべく此自動車を所有して滿足し賞揚せざる人なし。



ゼーエッチーモーリス
京城府貞洞拾九番地

ウィリスオーヴァーランド會社
米國オハイオ州トレド市

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
電話一八番　二六〇〇番
酒井婦人病院
院長　酒井一郎

登録商標

七日ツヾケラ鏡をごらん色白くなるゲンソウ液

今東京で大評判の元素液色黑き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す送料内地八錢朝鮮卅錢　東京神田和泉橋際松本藥店

大壜二十錢　特用四十錢

一滴づゝ効力のある
日本に初めて出來た
美乳

驚いた

實際驚きました美乳を用ひ初めてから一日二日三日立つて効果が顯れ時に一週間目には生地から白い美しい膚となる鏡見る毎に自分ながら見惚るゝばかり美しくなるですから私は朝夕美乳を欠さず常用してゐます。しかし外出の時には新に出來た美乳の姉妹美容料「純白美乳」を一滴必ず塗て水際立つた化粧業を喜んでゐます

家庭では……美乳。
外出には……純白美乳。

僅か一瓶で美人となる
試驗はタツタ一週間！

本舗　大學白粉本店　矢野芳香園

京城日報 第五版
二十二日朝刊 (朝夕刊を併せて八頁)
本紙定價 ▲一部金二錢五厘 ▲一ヶ月金五十五錢 ▲三ヶ月金一圓六十錢 前金に限り割引
廣告料金 ▲五號十五字詰一行八十錢 ▲七號二十字詰一行六十錢
發行兼編輯人 與川直彥 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號 振替口座京城二〇〇番

▲二十一日後場 大阪電報未着にて當限二十一圓七十五錢中七十五錢先八十三錢と同
▲先限一節二十一圓八十三錢七十九錢八十錢七十八錢三節七十八錢九錢七錢六錢五錢四錢五錢
後場商値 二十一圓七十七錢 二十一圓八十三錢 二十一圓七十四錢

京城日報

經濟上の帝國主義

此度の大戰役に際して、各交戰國民の最も痛切に感得したるは、其經濟上の自營自給策を確立するにして、英吉利は則ち其の最も痛切なるを知ると同時に、其を確立する爲めに最も努力せるものなり、乃ち英吉利は千八百七十年代以來、耕作地比年減退し千九百十五年調査會を設けて之を調査したるに、過去四十年間英蘭及び威爾士に於て減少したる耕作地四百萬エークルに及び、英國民の七割乃至八割は、之を海外より輸入せざるべからざる境遇に在り、是れ此度の戰役に際して、最も痛苦を感じたる所にして、英國政府は最近數年間全力を注いで、耕作地の回復を圖り、今や多少の效果を示すものあり。

英吉利政府の農業振作の爲めに用ゐたる所の手段の如きは、固より戰時非常の施設に基くものにして、他の時他の處に於て、之を擧ぶべきにあらざるや勿論なれども其精神の存する所は、則ち一々尋繹すべきものあり、乃ち英國政府は、荒地を回復して耕作地と爲さしむる爲めに、農具を供給し、肥料を給與するのみならず、農業勞働者を召集し、擁護至らざるなく、更に穀價の最低限度を保證し、農民をして其産出物の價格の低落に懸念することなくして其業に從はしむ、農務省の見込みに依れば、千九百十八年即ち今年の施肥用硫化アンモニアの使用量は、千九百十六年度の其れに五倍すべき計算なり、又此度の農業振作策を行ふに際して、英國政府は最も農具改良を奬勵し、モートル、トラクトルの使用を慫慂す、乃ち農務省自ら三十二臺を所有し、更に二百二十臺を買入るべく、過日軍需省に對して新たに六千臺を製造したるも、同省所屬工廠には其餘力なかりし爲め、更に北米合衆國より買入るゝことなれりと云ふ、其他農業勞働者の賃銀の最少限を保證するの制度を設くる等、其施設活潑、人の耳目を聳かすに足るものあり。英國政府の農業振興策が如何なる成績を齎らし來るべきか、今此に之を詳語する能はざるも、千九百十六年末の英蘭及び威爾士の作附反別は、前年度より減退すること二十六萬エークルなりしに、千九百十七年に於て三十八萬エークルを增加し、更に蘇格蘭にて六十四萬エークル、愛蘭にて七十萬エークルを增加したり、而して此愛蘭の作附反別の增加の如きは全く豫想外なりしを以て此分ならば英蘭に於て、頓て作附反別增加を貪るの必要なきに至れりと云ふ、我大日本帝國は農業國なりと云ふも、今日既に食用米の不足を告ぐるの實あり、昨年來米價騰貴のため、官民共に艱苦を重ねたるは、甚だ遺憾千萬と謂ふべく、我帝國本土は商工業振興時代なり、人口增加亦急劇なる爲めに、其不足を告ぐるは洵とに已を得ざる所なるべしと雖も、我朝鮮の如き天賦の無盡藏の有るあり、我爲政者にして若し適當の方法手段を施すあらば、我帝國經濟の自營自給、足を翹げて待つべきなり、暫く英國政府の農業振興策を擧げて以て其參考に供す。

獨逸の產業並に商權擴張策(二)

賀田直治

獨逸勃興の動機及び歴史(二)

獨逸は歴史上並に地理上、徹頭徹尾難局に堪へて努力し開拓したる事歴を有す、而も此等の原因綜合して、却つて剛健にして忍耐に富む國民性を形成せり。又普魯西亞をして第一に薄弱なる聯邦の統一を結合するの必要を認めしめ、此の目的に向つて邁進せしめたる者即ち今日の結合と強大とを致したる原動力なりとす。而して之が順序として先づ關税同盟により、聯邦經濟上の結合を固うし、軍備と教育との根底的施設に依り、漸次國力を培養し、遂に彼の千八百七十年の普佛戰爭の捷利に依り、完全に聯邦の政治的統一を成就し、同時に國民的競爭心を刺戟し、更に產業に就きては積極的進步を圖り、又其の植民政策として立遲れの爲め、世界の植民地を獲るの機會を失ひたるを恢復せんが爲め、却つて世界的侵略政策を確立し、あらゆる準備を以て今回の戰爭を開始し、決死的勇氣卽ち彼のベルンハルヂーの所謂「興國か亡國か」の決心を以て世界を相手として、戰爭を繼續しつゝある所以なり。然り而して獨逸歴史として、將た人物活動の時期として、最も見るべきものは、第十八世紀中葉に於ける普國フリードリッヒ大王の獨逸統一運動の著手より始まる。以下少しく此等偉人の活動並に事蹟に就き、順序的に之を陳述せんとす

抑も獨逸の聯邦は、元來前述の如く、極めて不統一の狀態に在りしものなるが、之が統一に普魯西亞の立ちたることは、實に獨逸帝國勃興の第一動機なり。何となれば統一的首腦なき間は、一國の基礎を確立するの理なく、最も剛毅且つ勤儉にして、哲理的國家思想と學問的研究心とを有する普魯西亞が主權を有するに至れることは、獨逸帝國勃興の第一原因なり。而して獨逸統一を謀りし普國の第一英主は即ちフリードリッヒ大王なり、左に其の性格及び治蹟の大要を列擧すべし。

フリードリッヒ大王(千七百四十年卽位)

▲**性格** 英邁勇武にして權謀の策に富み、而も民政を重じ產業獎勵を好み、所謂保守的軍隊主義なりしと共に、近世的進步主義を存したり。

▲**治蹟** 戰爭を國勢發展に利用し左の如く劍戟の間に大功を奏せり

一、墺太利王位繼承の亂(自一七四〇年至一七四八年)此の戰爭に獲たるものは、シレジアのみなるも、之が爲め國民的自重心を涵養し軍隊訓練に多大の效果を奏せり。

二、七年戰爭(自一七五六年至一七六三年)墺國(マリヤテレサ女王)露西亞並に獨逸諸侯國の包擊を受け、非常に難戰苦鬪せしも、結局無勝無敗にて局を結び、戰後十年波蘭の第一回分割を首唱して、露、墺、普三國間に分割し、就中普魯西亞は最も有利なる領土部分を占領するに至れり、是れ卽ち遂次普魯西亞が聯邦に牛耳を執れる第一基礎となれり。

三、七年戰爭の經營 疲弊せる財政を回復するが爲め勤儉力行種々なる產業と制度とを興起せり。卽ち運河、道路、農業獎勵、製鐵、製絲、製毛、義務教育乃至國民兵制、民俗の改風等。

要するにフリードリッヒ大王當時普魯西亞の國勢は常備兵數二十萬(內七萬は外國傭兵)を有するに至り、玆に軍國的位置を獲得せる次第なり。而して卽位の當時二百萬なりし人口は六百萬となり、五萬方哩の領土は八萬二千方哩に擴大せられたり。

フリードリッヒ大王の政治主義

(一)**民族國家主義** 有名なる格言『朕は國家筆頭の僕なり』を唱へ、宗教に對する寛容主義を執り、自身は非基督教にして『此國の民は各人各樣の途を辿りて天國に行くべし』と唱へ、無神論なるヴォルテールを優遇し戰爭中と雖も政治上の改善を圖ることを怠らざりき。

(二)**濟民的經世主義** 一國の首腦として慈父の如き心得にて臣民に對することを信條と爲し、學校、教會、農業、疏水、開墾、植樹、交通、商業其の他濟世利民の事業尠からず。農業を强制的に獎勵せし如きは有名なる話にして、仁慈的專制君主の名實を得たるものと謂ふべし。

(三)**軍國主義** 戰爭に依りて兵力を練り、兵備を整へ、又之に依り國勢を增進するに努めたること前說の如し。

圖書館を設立せよ(三)

王世子御慶事記念として

法學士 李範昇

圖書館の效果に就ては斯界の名家デーナ氏は其著『圖書館管理法』中に圖書館の社會に與ふる六種の利徒を列擧して曰く、一、圖書館は世人に慰安的讀書の途を開くものである。業務に蠢痒し生計に齷齪する社會多數の人々は僅少の餘暇を得て文豪の手になれる小說を繙かんか現在の苦痛煩悶等を忘れ心神暫時ながらも仙境に遊ぶ心地がするであらう。此の慰安的讀書の標準を向上せしめ彼劣惡なる文學を棄てしむるは圖書館である。二、圖書館は文學、技藝、化學其他百般の圖書を蒐集し各種の研究者、實務者をして獨學自修以て其の業を完成せしむ。三、圖書館は市民を訓練するものである。卽ち政治上經濟上の諸問題にして時代の論爭となり輿論の焦點となるが如きものに關する專門大家の思想を紹介すべき圖書を蒐集せるが故に社會教育をなすものである。四、圖書館は單に知識の倉庫なるのみならず修養の場とも云ふべきものにして各自品性の陶冶に必要の資たる穩健の圖書を閱覽せしむるの美風を涵養するものである。五、圖書館は其の管理宜しきを得ば有害無益の酒舘、喫茶店に對抗すべき一大勢力となりて彼等に向はんとする客を迎へて此に招ぐに至るべく、殊に天性讀書修學を好愛する兒童並に青年にして不幸にも家庭又は學校に學ぶの機會を有せざる者の爲めには唯一無二の學習場である。六、圖書館は常に學校教師の補助者である。卽ち必要なる圖書を供給し之れが價値及び使用の途を示して以て家庭に於ける修練の便を與へ或は讀書組合の組織を成就せしめ且講演に關係ある圖書目錄を提供して講師等に多大の便宜を與ふるものである。斯の如く市民をして圖書館の供給すべき圖書を完讀講學せしめ理想的大學に學ばしむるのみならず各種の職業に一大裨益を與へ政治及び經濟的行動に對する穩健なる主義を普及し且一般公衆に智的修練の材料を賜與し其趣味を涵養せしめて高尚純正なる樂しみを與ふるものなりとせば之れに依り圖書館の必要と其の効果は十分知るに足るではないか。

新議政府より

五月二十日 三笑生

◆一昨二十日、小生は、初夏の候、午後六時頃大門驛發京元列車に搭じて、議政府迄まで出掛くることを年來の樂みと致し居り候。殊に新緑の候、つれなう去りて、清涼たる青葉の初夏に至りては、無限の情味を催興し愉快の極に候。

◆今日は、暇を以て、新議政府に友人某を訪問致し候。新議政府とは、[illegible]民の開墾地に關係せる、內地人の部落に命名したる、假の名にて候。去年來、山林技手を辭して、この村の住人となりし快漢阿久根君などは、何とか匠とした名を附けねばならぬとて、邑誌など涉獵し居るやに聞き及び候

◆[illegible]子爵の開墾地は、議政府驛の西方一帶の平野にして、[illegible]町に亘り居り候子爵は、三年間無料の約束にて、內地人に開墾せしめ居り、數年後には全部王土と化するに至る可く、僅かに議政府の誇りと相成るべく候

◆議政府在留の內地人は、議政府を京元線中の主要驛たらしめる計畫にて、努力致し居り候。去年彼等の間に、開設されたる市場の禁止は、その氣勢を挫折せしめたるの感ありしも、彼等は當局より、其の必要を認めらるゝ迄奮圖すべしとの覺悟を定めたる模樣に候

◆某有志は、記者に語りて曰く『當局の市場禁止は、在留民奮起の動機となりたるものにて、議政府の將來の爲めには、却つて[illegible]

勸業債券高價買入
貯蓄の實行は最も手輕なる月賦賣
一ノ組 六十八回 拾圓券 六十五回 三圓拂込著金番號通知 初回
二ノ組 六十七回 拾圓券 六十四回 四枚組 初回 通知 次回拂込著金番號
三ノ組 六十六回 六十五回 拾圓券 六十四回 通組 初回 次回 拂込著金番號
二千圓の德用 每月くじの樂める組賣
支部出張所代理店增設 全國樞要の都市郡區に亙り開設す 有合手當給料其他一月以上 三百圓以上 希望者は寫眞履歷書添付本店へ進呈
東京丸の內有樂町一ノ三 大日本勸業合資會社 振替口座東京七六

法人登記
京城地方金融組合 大正七年五月九日住所ヲ左ノ處ニ移轉シタリ 京畿道開城郡松都面西本町五拾參番地 右大正七年五月拾八日登記 京城地方法院開城支廳

一洗布(白上等)入札 詳細ハ五月二十二日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

どんな手紙でも僅か五分間で書ける 應用自在 手紙文庫 改訂增補 忽十五版 空前の大著 ◆頭を痛めずに立派な手紙が即座に書ける ◆今回完成せし新體美文手紙文庫は明治文壇の一の美文家川上眉山先生が半生の心血を傾倒して完成せし苦心の大著にして全卷を春、夏、秋、冬、雜の五卷に別ち各卷を更に月別とし其月々に必要な用語、類句、文例を漏なく集め艶麗な手紙でも又悲しい手紙でも嬉しい手紙でも通知、誘引、照會、依賴、謝禮、催促、招待、訪問、兵事、學事、貸借、贈答、賀、弔、慰、見舞、其他婚禮、祝文でも時候文でも其敗質に一千三百餘種に達し、手紙が自由自在に書き得られ事が痛めずに僅か五分間で思ふ通りの文に至る迄本文庫さへあれば頭を外の書翰文の五倍も十倍も役に立つ之が本文庫無二の特色にして殊者苦心の存する所である、本書は三六版六百頁の大冊にて定價金一圓五十錢なれど今回增補完成紀念の爲め特價金一圓十錢に割引破格の新聞名記入注文者は內に限る 東京市青山南町六ノ一三五 振替東京三〇四八六番 手紙文庫刊行會 此際先着注文者五百名に机上便覽日用必須書翰文用語集一冊無代添付進呈

魚釣具及投網卸小賣 鳥捕用カスミ網各種あり(御申越次第定價表進呈) 京城永樂町貳丁目 吉備商會 電話三一四番 振替京四三八番

少年世界 六月號が出來ました 大歡迎 大好評 ◆お伽小說 小槌の大助…巖谷小波 ◆動物探し 魔術の種…新案口繪 ◆少年小說 草刈の子…石黑露雄 ◆茶碗の水と毒…一戸理學博士 ◆冒險小說 片腕の父…水島爾保布 ◆デコ坊の歌…(ステキに面白い) ◆冒險小說 小鬼中尉…筑紫次郎 ◆東京灣一周(航海大佐) ◆英國お伽 高慢な小姿 めつかち入道…(新案の面白折紙) 挿畫劇 桃太郎(愉快な遊戲)

少女世界 ◆お伽小說 浮ヶ瀧…巖谷小波 ◆パラソル物語 ダイヤモンド(冒險小說) ◆お姫樣によばれて 二人の流れる(滑稽物語) 水攻め火攻め(滑稽繪ばなし) 少女家事心得 たらひの椅子(口繪詩)茶つみ歌 ◆私と姉妹の話 ◆泣たり笑たり…矢野あや子 ◆かくれんぼ…加藤京子 ◆うばのいへ…細川武子 ◆お隣りに土産…江中千代子 ◆千代紙細工 定價十五錢 郵一錢 東京本町 博文館 振替東京二四〇

婦人世界
六月號 一冊二十錢 郵稅一錢五厘 半年一圓一錢 一ヶ年二圓七十錢 東京京橋區 實業之日本社 振替東京三二六番
□體操か踊か(婦人の運動法として)…醫學博士 大澤謙二
□新時代の求むる婦人…戸野校長
□農村婦人思想の動搖…高信主筆
□進取的な米國女學生…山本校長
□勇士の妻の健氣な覺悟…新渡戸博士
□強き婦人たれ…下田歌子
□五十圓の月給取の妻が勤儉して住宅新築の實驗談
□家庭の飲料物の研究…倉島謙
□病人用重湯の取り方…弦齋夫人
□丈夫な兒弱い兒の見分け方…加藤博士
□寢冷を知らずの法…記者
大好評小說 靈鐘…小杉天外 篋丸伯爵家へ奉公した物枝は吉か凶か彼女は今宵の潮に立つ本篇を以て小夜子の生涯は一切解決す彼女は遂に何處に行く?
小松島…村井弦齋
□蚊と蚤と蠅の驅除法…記者
□藥を飲む時の注意…佐藤藥學博士
□トラホウムの無痛療法…前田醫學博士
□洋傘と雨傘の研究…婦人記者
□美味しい糠味噌の作り方…學者
□子供の辨當箱と其お菜…佐久千代
□收入多き婦人のタイピスト
□我家の六月の家事整理…櫻田節彌
□初夏の蔬菜料理…大矢好治
□前を割つた束髮の結ひ方…古田梅次郎
□盛花を習ふ人の爲に…小島泰次郎
□婦人世界創刊十周年記念事業として募集當選の一勝地耶馬溪へ此度建立の新三景石碑の寫眞並に除幕記事を本號に掲載す

小學教員試驗講義 ●立身の捷徑は先づ就職容易なる小學教員となるに限る全國其不足數頭に四萬本會は學監師範學校教頭大橋先生監修の下に最も親切速成に教授し受驗就職の便を與ふ 正科一年 六ヶ月卒業 會則申込次第進呈 ●東京小石川局區內 帝國師範教育會

早稻田大學講義錄
看よ! 本邦通信教育界の權威
▼小學卒業者が立身出世の唯一の獨學講義 自宅にて中學校入學同様の實力が得らる
早稻田 中學講義
▼總長 大隈侯より獎學メダル贈與其の他特典多大 階梯を踏まず速に入學せらる
早稻田 商業講義
▼今や商業の世の中! 商界成功の基礎は是れ
申込次第見本附規則書直に送呈
東京牛込早稻田 早稻田大學出版部 振替東京三四五 電話番町三七四 二四二

簿記通信教授 新學期開始入學好期 ●大阪天神橋筋西二丁目六一九 銀行會社商店事務員並に會計士養成 簿記會計學 教授完全 規則見本郵券二錢 日本青年通信社編 ●類書中の白眉內容頗る豐富 最新刊 ポケット形約三百頁美裝製本堅牢携帶に便なり

式辭 演說 挨拶 資料 演說集 ◎平素よく辯舌ある人も一度壇上に起ちて一言半句も出し得ざる人多し之等は修養の足らざる爲にして本書に依り充分修練し自信力を得ば如何なる素人も決してマゴツカず見違へる程雄辯家となり得べし ◎本書中には社會一般の宴會集會議式の席上に於ける演說祝詞等の例を集め其他青年會の發會集會講話の席演說祝詞紹介招待祝賀歡迎送別就任退任表彰開業結婚葬禮懇親會等の場合は勿論の事 演說祝詞の請を振るも恐懼よく五分間以內に充分說明せり又は良書にして至廉即決御申込を乞ふ御注文は前金の事 振替又は爲替にて 定價五十錢 特價四十錢 當分の內 (郵税六錢) (切手代用一割增) 發行所 東京赤坂區丹後町九二 日本青年通信社 振替東京三四九壹二番

有給社員採用(十名限り) 希望者身元保證人を要す履歷書持參本人來談のこと 京城永樂町二丁目(交番橫) 德田商會 電話三三五番

鑛區鑛石買入 鐵鑛、銅鑛、鉛鑛、銀鑛、黑鉛鑛 右の鑛種に對し鑛區並に鑛石買入(但し有望鑛區に限る) 金鑛石、銀鑛石、黑鉛鑛石、鉛鑛石、銅鑛石、重石 水鉛 右の鑛石多少に不拘買入 鑛山用諸機械器具及鑛石叺販賣 京城府御成町七番地 正已鑛業所 熊谷忠直 電話長三一三番

○共同防禦警告

支那政府國民の疑惑を解かんが爲め 協約は戰時中＝趣旨は極めて簡單

支那政府は非公式に左の如く發表せり（北京特電）

近來各新聞紙に日支共同防敵に關する捏造記事を掲載し支那兵器廠、軍隊、警察、交通、鑛山等を日本の管理に委ぬとの說を喧傳し國民の耳目を惑はせるが右は日支協商の眞相と大なる逕庭あり蓋し露獨の單獨講和後敵國が露國の內亂を利用して東亞に進出せんとし露國と境界を接する日支兩國は利害を同じくし支那は既に獨墺と宣戰し日本と與國たり兩國は宜しく豫め共同防敵に關する作戰計畫に就き協商せざる可らず然れ共是等の協商は必ず敵國勢力の國境に侵入し兩國等しく出兵する場合に於てのみ始めて實行す可く又僅に戰時中のみに限られ歐洲戰爭終熄せば無效となる可し故に出兵の事無きに於ては廢止と等しく世の所謂密約とは是の事を指すものならんも其大畧は前述の如く極めて簡單にして國民に對し敢て秘密に附する要なきも軍事協約に屬するを以て遺憾乍ら其全文を發表する能はず要するに本協商は防敵を目的とし敵勢の東侵を防禦するを作戰の範圍とし歐洲戰爭の終了を以て其期限とし專ら軍事のみに關し支那の警察、交通、製造業等の權利に關係せず又國家の主權を侵害する如き事無し今や內憂外患緊急の際無根の風說を傳へ人心を動搖し國交を傷くるを虞れ特に國民に告ぐ

○欅山大佐北京出發

欅山海軍大佐は十九日午後八時半重要書類を携へ滿鮮經由歸朝の途に就けり（北京特電）

○化縣炭坑暴動警備

京奉鐵道線化縣炭坑の暴動は其後益々火の手猛烈となり直隷省長は保定より警備のため一大隊を派遣し更に天津より憲兵一個中隊を增派したり（北京特電）

○キエフに革命運動起る

ツーリヒ來電＝キエフに於て革命運動起り獨逸當局者は同運動の蔓延を防壓す可き手段を講じ居れり（巴里電報）

（附記）キエフは露西亞の西南部ドニエプル河に沿へる都府にして人口約四十八萬、希臘教の聖地[illegible]と稱せらる

○獨軍戰線內大混亂

獨軍の新攻勢が遲延せる理由は聯合軍飛行隊の活動に依り獨戰線內に非常なる混亂を惹起せしめ且つ我軍の砲兵隊が間斷無く敵陣を砲擊し其軍器貯藏所を爆破し工場を破壞し後方陣地に非常なる損害を與へたるに依るものなり（巴里電報）

○獨逸潛航艇の屛息

倫敦來電＝公報に據れば從來フランダース地方を根據地として活動せる獨逸潛航艇及び水雷艇の大部分は今や全くブルージェンに蟄伏せり（巴里電報）

○南行列車延發

二十日午後十一時頃草河口、通遠堡間は降雨にて土砂崩壞し鐵道線路を埋めたる爲め二十一日午前七時半安東發南行列車は二時間半、同午後六時半列車は一時間半延發せり目下復舊作業中なり（安東特電）

○吉林の議員團

衆議院議員團の一行十三名は元氣旺盛にて廿一日正午來吉直に督軍各所長を訪ひ午後二時領事館に深澤領事久保鮮銀支店長の歡迎に同六時支那側の招待に臨み名古屋館に投宿二十一日民會主催の一般歡迎會に列席の上午後二時發にて長春に向ふ隨行三名也（吉林特電）

○太田黑氏去來

太田黑重五郎氏は廿一日朝本溪湖に向け出發せり（奉天特電）

大阪財界便り

▲石油世界缺乏 石油石は[illegible]

主八百萬圓の輸入に依り漸く需給均衡を保ち居れるが鑛業家は全國に亙りて石油坑の開鑿を爲しつゝある[illegible]の狀を呈し世界石油產高の百分の六十二を產する米國さへ國內需要[illegible]は變らざる唱へとするも內地取引は倫敦公定相場より運賃を控除したる値段の取引なるより益々不利[illegible]みの成行を辿らんとするの風潮顯なれども多大の引縮りは期待する能はざるものゝ如し[illegible]るの方針を執れるもの如きも充分なる資力を提供して日支合辦にて經營せんには決して絕望に非ず[illegible]那に於ける現在外人の鐵鑛業は日支合辦に屬する大冶及び本溪湖の二鑛山のみにして外人の經營は石[illegible]ろべしで

▲油脂工業前途 時局の影[illegible]を見るに本年に入りてより五回の値上げを發表せられ平均一箇月一回の値上げを決行し居れるが如き[illegible]は油脂工業家に[illegible]

◎大山公爵入京

滿洲見學中なりし公爵大山柏氏には二十二日午後七時十四分龍山驛着入京し巴城館に投宿する由

◎安奉線徒步連絡

安奉線草河口通遠堡間にて二十日貨物列車事故ありたるを以て現場二十鎖の間は徒步連絡をなす事となりたるが開通迄には三日を要すべきも徒步區間は道路平坦にして步行困難ならずと

◎郵貯利子決算

大正六年度朝鮮郵便貯金利子決算は數日前終了せしが利子總計は四十四萬零五百五十九圓にして內地人三十六萬一千八百二十八圓朝鮮人七萬八千七百三十一圓にして之れを前年の利子に比すれば六萬一千二百七十二圓を增加し居れり

▲利子記入 郵便貯金管掌所にては利子決算終了に付各預入者の通帳に利子を記入する由に付便宜預入局所に提出さるべしとのことなり

◎國勢調査係官

若干の時日を要すべし

朝鮮に於ける國勢調査事務に關しては既に官制の發布を見たるが總督府に於ては統計官以下の任命に先ち職務分掌規程に改正を加へ其所屬を定めざる可からずして未だ何れの部局に屬せしむべきか獨立の一課を設くべきか或は現在の一課中に其の係を置くべきか等も決定し居らざる模樣にて係官の任命を見る迄には若干の時日を要するものゝ如し

◎事業計畫案募集

京城商議の計畫、資本金五十萬圓以上

朝鮮の產業は著々發展の道程にあり而して今や時局の影響は我經濟界に異常の活況を呈し資金の充實せる內地資本家が其の資本を植民地の有利事業に投ずるの傾向著しく之れが事業の選擇或は計畫等に關し京城商業會議所に照會し來るもの尠なからず而も過般の事に關しては常に京城商業會議所の注意を怠らざる處なるが今回同所にては此の機運を察し資本家及び事業界の連鎖を企圖し賞を懸けて廣く事業計畫案を募集せるが右に關し同所大村書記長は語て曰く「實は近來內地資本家が朝鮮の有利事業に關し當會議所へ問合せ來る向頻々として絕えず又朝鮮に於て事業を目論見つゝある者にして資本の缺乏を訴へ若しくは之れが爲め其の事業を放棄し又は其の勃興を妨げられつゝあるが如き事なきを保せず即ち其の間投資家及び

▲事業界の連鎖を圖らん事を思ひ今回の募集をした譯である這は朝鮮に於ける產業が勃興の機運に際會せるもので這般の事に關しては固より當會議所は常に注意を拂つて居る之を先にしては家庭工業實施案を募集し之を後にしては最近全鮮の利源調査を進めつゝある次第であるが兎角此の機運を察して再び懸賞募集を以つて事業計畫案を募る事にし廣く江湖の名案を得て半島の產業界に稗益し度いと言ふ考へである報酬金額は微少だが大方の諸賢幸に當所の擧を贊し

▲奮つて投稿 されんことを希望す募集規定の資本金額の五十萬圓は最近歐亂の影響物價の昂騰等に因つて事業資本としてはどちらかと言へば最も低額なものとなつて居る樣であるから五十萬圓以上としたのである」と而して其の募集規定を見るに大要左の如し

資本金五十萬圓以上▲企業地朝鮮內▲事業種類農工商の何れに屬するものたるを問はず又數種に涉るを妨げず但し鑛山採掘業は之を除く▲答案には資本金額、企業場所、管理經營、原料及び其蒐集收支計算並に目論見書等に就き詳述し數字的採算を明示すること▲答案は京城商業會議所書記長大村友之丞宛親展封の事▲募集締切期日大正七年十二月三十一日▲賞金三百圓一名、百五十圓一名、五十圓二名

◎東京大連線準備

遞信省並に關東都督府に於て大正七八兩年度の繼續事業として朝鮮經由の大連東京間直通電線を架設する事となり第四十議會の協贊を受け居れるが右は遞信省並に都督府に於て材料購入中の由にて右取り揃ひ次第架設に着手す可しと

◎生牛移出狀況

咸北道國境より三月中輸移出せる生牛は三百六十頭にして此價格二萬三千六百二十八圓なるが昨今牛價の暴騰を來したる爲め之を二月中に比すれば頭數に於て百十五頭を減少せるも價格は二千三百四十八圓を增加せり更に之を六年同期に比すれば七十頭六千九百二十圓を何れも增加せり尙ほ之が仕向地は露領沿海州九頭浦鹽三百十四頭[illegible]三十八頭にして[illegible]は農耕用なりとす（清津）

◎定平々野灌漑

咸鏡南道定平郡錦津江の流れを利用し同郡文山面歸林面兩面に亘れる四百四十町步の灌漑工事は最近總督府より認可ありしが竣工期限は大正八年四月末にして出願人は金宗燠外四名なり

◎歸國後の支那留學生

支那留學生の先發隊二十名は十三日天津に着し同地に救國團支部を設け紳商學界と聯絡し日支交涉反對運動を開始したるが同留學生等は十五日北京に入れり當日入京したるは救亡副幹事と稱する阮湘及び王希天以下福建湖南兩廣のものにして湖南人最も多數を占む廿日には數名の女學生もあり十六日には同湖南會館にて集會を催さんとしたるも警察の取締嚴重にして果さず更に同學生代表者は十七日敎育部に傅總長を訪ひ歸國したる理由を陳述したるに傅總長は今回の交涉は全く露國の形勢の變動に連れ東北境の防備の爲めに外ならず諸君は決して疑懼するを須ゐず安心して歸東し學業に從事すべしと懇々說く所あり又京師警察總監吳炳湘氏は十八日學生代表を警廳に招致し日支交涉の眞相を說明し諄々訓諭するところあり尙ほ此等學生の上海隊は已に同地に到着し寄寓しつゝあり其外奉天吉林に入りたるものは同省內に於て支部を組織し運動を開始しつゝあり同救亡團なるものゝ本部は上海に設けられ北京及び各省に支部を設く但し今回學生の行動に對しては支那各新聞の論調比較的穩健にして中には反つて其行動を非難するものあり同學生の反對運動も恐らく失敗に歸せんのみ（北京）

◎爲替貯金受拂狀況

京城郵便局に於ける四月中の爲替貯金受拂狀況を聞くに受入に在りては內國爲替十三萬四千三百七十二圓外國爲替一千四十一圓、郵便貯金三萬三千七十三圓、振替貯金百四十七萬五千四百九十六圓遞信官署歲入金十四萬三百六十五圓此の受入總額金百七十八萬四千三百四十九圓にして之れを昨年同期の百八十四萬九千六百七圓に對比するときは六萬五千二百五十八圓を減じ又其拂渡に於ては內國爲替三十一萬五千三百五十二圓外國爲替千九百七十圓郵便貯金三萬二千百二十四圓振替貯金百九十二萬一千三百四十四圓遞信官署歲出二萬八千六百八十三圓此拂渡總額二百二十九萬九千四百七十四圓を算し之れを昨年同期の百九萬六千五百五十四圓に對比するときは二十萬二千九百二十圓を增加したり以上の外運轉爲替資金等の出納額を加算せば受拂總額に於て昨年四月分六百四十九萬五千五百四十七圓本年四月分七百七十五萬五千五百二十三圓にして通計百二十五萬九千九百七十六圓を增加せり

◎上旬鮮鐵收入

上旬に於ける滿鐵朝鮮線の運輸收入は客車收入十九萬二千七百零一圓貨車收入二十萬七千七百零九圓合計四十萬四百十圓にして前年同期に比し十二萬七千二百十七圓の增加を示せり

◎兵事々務打合

古城軍司令部副官は兵事々務並に演習召集簡閱點呼に關する打合の爲め二十一日より三十日迄十日間の豫定を以て慶尙南北、忠淸南北道に出張すべく二十一日朝馬山へ向け出發せり巡廻順次は晋州大邱淸州公州なりと

◎若森氏特旨進位

曩に退官せし前遞信局副事務官若森美樹氏は特旨により位一級を進められ從五位に敍されたり

◎國友警視東上

警務總監部警務課長國友尙謙氏は來る廿七日より六日間東京に於て開催さるべき府縣警察部長會議に列席の爲め廿一日朝南大門發列車にて東上せり

◎山本中新社長來社

入京滯在中の中國新聞社長山本三朗氏は廿一日本社を來訪せり

人事消息

▲笠井健三氏（小野田セメント會社長）廿一日夜入京朝鮮ホテルへ
▲齋藤錦一氏（藤田組重役）同上天眞樓へ

■百聞百種■

幾度も噂さゝれた米國の空中飛行郵便は、ツヒ此程紐育から華盛頓へ第一回の飛行機を飛ばした▲機は七百餘個の小包を積載して三時間と二十分で華府着、兩都の距離は二百三十哩弱、郵便空送は空想に終らなかつた▲初めは飛べるのが不思議で、次は命賭け、戰爭に飛行機を使ふのも、ドーセ戰爭だから、と云ふ命賭けの部であつたが愈運輸交通の機關として實用に供せらるゝ時代が來た▲日本も空中から惡氣流を掃ひ除けて、發動機に故障の起らない藝味をして『飛行機が墜落したのか、夫れは飛んだ椿事だ』位にしたいものだが、と或人の感慨談▲東京に滯在中の唐紹儀君、大相撲の六日目を見物して初ものゝ相撲を面白がり男女の觀客が夢中に成つて見て居るのにヒドク感心して、成程日本は尙武の國柄だけある。はチト痛入る▲日本も成金に成つて『金』の御所望なら、有る袖の何時でも振れるが、ソデ無い事が多くて困る、と之れも某氏の感慨談▲處で有る袖も振り方には種々方法があるらしい巴城館に滯在中の藤山雷太氏曰く『日本の對支投資も結構だが、甲胄に身を固めて薙刀を擔ぎ出す者もあれば、カーキー服に鐵砲もあるといふ風で、從來の樣に思ひ思ひにやつたのではダメ、皆が一致協力しなくてはね』と

○臨時政府樹立

本部をボルジヤに置く

滿洲里以西五十露里を既に其手に收めたるセミヨノフ軍は其目的とする後貝加爾州獨立の一端を實現す可く本部をボルジヤに置き臨時政府を樹立するに決し左の軍令を發せり（哈爾賓電報）

一、我部隊に於て後貝加爾州の秩序恢復する迄權力を掌握し敵對行爲を爲す者は總て軍令に照して是れを處分す
二、臨時政府の職務は左の如く分掌す
（イ）對過激派軍事行動＝セミヨノフ（ロ）軍事行政＝シリニコフ將軍（ハ）行政事務＝サスチン

而して同政府は其の目的に關し宣言書を發せり

新聞代引上謹告

今回新聞用紙の原價空前の暴騰を示し前貳回の値上げを通算して戰前に比し約倍額と相成り加ふるにインキ其他の原料も亦非常に騰貴致し候に付き事情不得已在鮮各社協議の上値段引上げと決し其の結果大正七年六月一日より吾紙左の通り引上可申事に相定め申候

壹箇月に付貳拾錢上げ

右宜敷御諒承被成下度此段謹告仕候也

大正七年五月

京城日報社

▲賣告▼
物品賣却
一第一號 古金物類 約六三、〇〇〇封度 四點
一第二號 雜品 四拾八點
一第三號 古制服類 八點
以上龍山當局經理課倉庫渡
右希望ノ方ハ來ル六月五日午前十時ヨリ午後二時迄ニ入札保證金見積價格百分ノ拾以上ヲ添ヘ入札スヘシ但入札心得ハ前記倉庫ニ於テ熟覽スルコト
大正七年五月二十日
南滿洲鐵道株式會社京城管理局

講師＝東京高等工業學校教官執筆◆本邦唯一の模範的工業講習錄
機械講義
◆壹年卒業
◆見本進呈
新學期・會員募集
[illegible]
●學科 ○工業物理○工業數學○機械製圖○電氣工學○機械工作法○發動機○唧筒○金屬材料○石油機械○參考資料等
東京小石川區表町 大日本工業學會 振替東京一六八〇

謹告
社員 平野良太郎 二十歲
右の者都合に依り五月十九日限り解雇仕候に付自今當店と一切關係無之此段謹告仕候也
京城岡崎町八十七番地
須川材木店
電話龍山四三四番 振替京城二〇八〇番

◎債券販賣 主任者採用
地方在住敏活の士至急履歷書送れ
東京日本橋南茅場町
東京債券株式會社

大連燒酎
先づ一瓶を求めて他品に超越せる芳烈なる香味を試みよ
特約販賣店
仁川 河野竹之助
木浦 阿部儀衛門
同 山口幸三郎
釜山 增永榮三郎
同 山邑支店
鎭南浦 吉富淸助
釀造元 大連燒酎製造所

火災安全と石油經濟とを具備し電氣の十燭光と同樣な明光ランプを御使ひ下さい
▼詳細說明書は御申越次第送ります
東京市本郷區湯島天神町二ノ十三
製造發賣元 明光ランプ合資會社
電話下谷七二七二番 振替東京三六八三九番
特約販賣店募集

◀桑種子著荷▶
農業家 養蠶家 諸君
農具 開墾用、耕耘用、除草用、園藝用、其他各種
蠶具 飼育、製糸、消毒、檢查用各種
肥料 過燐酸石灰、大豆粕、油粕、骨粉、硫酸アンモニヤ人造肥料各種
土佐產純魯桑種子 特撰品一升金十圓 一等品一升金八圓
薩摩產純魯桑種子 特撰品一升金五圓五十錢 一等品一升金四圓
普通桑種子 一等品一升三圓五十錢
但し荷造費及送料は實費申受候事
本月末入荷可致當分の內右價格を以て御引受申候間至急御用命被下度願上候
京城府南大門外
朝鮮勸農株式會社販賣部
電話長四〇三番・振替京城三七八番

サンドメーソン會社製
五拾二馬力
消防用喞筒 壹台
但式ケ年使用セシモノ
東京市京橋區木挽町二丁目十三番地
汽機汽罐諸機械商 高橋商店
電話京橋三〇九一番

衞生坂式クリニングは經濟
一洋服及毛織物ハ是非クリニングガ必要デス
一蒸氣ヲ使用スルガ故ニ惡臭ヲ去リ地質ヲ强固ニス
一蒸氣力ニ依リテ色澤ヲ鮮明ニシ毫モ地質ヲ損セズ外觀上ノ體裁ヲ保留ス
一洋服一般丸染ハクリニング式ヲ應用シ染直シ物ト見分ケ難キ迄ニ調製致マス
一毛織物ノ騰貴ノ今日染替染直シ等ハ廢物利用且ツ廉價ナル工料ヲ以テ御用命ニ應シ可申候
西洋洗濯 クリニング 洋服丸染
京城南山町三ノ二九（電話三八七番）
坂洗濯店

內科 小兒科 皮膚科 梅毒科 外科一般 婦人病 花柳病 診療
京城黃金町二丁目（長橋通角）
朝鮮病院
（入院隨意）（電話二八三七番）

[illegible]に過ぎず本邦の如き[illegible]各種工業の動力に應用せ[illegible]の大石油坑發見の爲め幾分を減せらるゝもの多く特に時局軍需品の[illegible]增加しゐるも年々五百萬圓乃至[illegible]激增の爲め歐米の石油は頗る缺乏[illegible]

△亞鉛相場引締 倫敦亞鉛標準相場[illegible]十圓を唱へらるゝに至り目先頭合のありて容易に採掘權を許可せず[illegible]力の鑛山富豪は奮發を要するが[illegible]れば鑛山富豪の奮發は益々必要な[illegible]使用され居るが揮發油相場の狀勢[illegible]一向値上げを見ることなき狀態にと（大阪支局）

●受驗者の學力が不足

合格者の尠ない醫師試驗

今少し勉強せねば駄目だ＝民間有力者の盡力で講習會を設置したら　總督府醫院長　芳賀博士談

朝鮮醫師試驗は十七日を以て終了十八日には其成績も發表されたが吾輩は此機會に於て一言試驗委員長として感じたところを述べて見たいと思ふ

今更言ふ迄もないが植民地の開發は先づ濟世救民の事業にある總督府でも此見地に基き併合以來各道に慈惠醫院を設け公醫並に醫生の制度を定めて診療に從事せしめまた醫學

◆◆專門學校 を起して年々多數の醫師を社會に送り出して居るが猶朝鮮の人口の割合から云ふと恰度廣い池の面に一摑みの小石を投じた位のもので醫師の數は非常なる不足を感じて居るのである大正三年の七月に發布された醫師試驗規則は則ち

◆◆此缺陷を 補ふ爲めに生れたものであるが昨年末改正の結果試驗は一部、二部、三部に區別され一部と二部が學術試驗、三部が臨床試驗と云ふことになつて居る然かも此試驗は一時に全部を受けねばならぬと云ふ譯ではなく一度一部の試驗に應じて

◆◆資格を得 ておけば此次は二部の試驗を受けると云ふことも出來るのであるから受驗者に取つて此上の好都合はないのである醫師試驗は今度で恰度八回目であるが受驗人員に比して毎時も合格者の尠ないのは吾輩の常に遺憾とする所である今回の如きは先づ〱成績の好い方であるがまだ〱充分と云ふことは出來ないも少し多數の合格者が出なければ嘘である又

◆◆個々別々 の成績について見ても一體に得點率が低くとび拔けて好く出來たと云ふ人は至極少である是は果して何に原因するのであらう？試驗の六ケ敷い爲めか或は又受驗者自身の學力不足の爲めか吾輩の觀る所では斷じて之は試驗其もの丶罪ではない試驗は內地の夫にくらべると

◆◆寧ろ寬大 でこそあれ決して六ケ敷いことはないと思つて居る——とすると結局試驗成績の不結果は受驗者夫自身の學力不足の爲めと云ふことに歸着する譯である所が之は實際の話しで臨床試驗よりも寧ろ受驗者の多くが學術試驗に於て失敗するのに徵しても其實際であることが裏書されると思ふのである一體醫師試驗の受驗者には

◆◆正則敎育 を受けた者が少なく大抵は獨學で勉強した者であるから餘つ程の秀才でない限り複雜な學理を悉く頭に叩き込むことも出來まいし學力の不足は到底免れぬ處であらうが夫にしても今少し勉強しなくては駄目である然し

◆◆徹頭徹尾 獨學と云ふことは困難であるから或る期間丈でも相當の醫師に就て勉強するが好い目から這入つたものは兎角忘れ勝ちなものであるが聽いた事は好く頭に這入るものだ其處で吾輩個人としては民間の有力者で以て

◆◆義俠的に 講習會でも開き受驗者を集めて敎育することにしたら其稗益する處は單に受驗者許りではないと思つて居る尤も吾輩は試驗委員長として直接其局に當ることは出來ないが民間有力者の盡力に依り受驗者の爲め將た又朝鮮醫界の爲め一日も早く斯うした機關の實現せんことを望んで已まぬものである

●洋畫が餘程理想的な印象的な日本畫に接近

雅邦門下の高足で松葉杖つく畫家として藝山、故春草氏と共に並び稱された赤羽雪邦畫伯は洋畫研究のために明治三十七年に渡米し、爾來不自由な松葉杖に縋りながらも全米を跋涉し今回十四年振で日本の土地を踏んだのであるが、氏は所感を語る

『米人も日本畫について未だ駄目ですね[illegible]を[illegible]と同一視して居るのですからある程度の鑑識家が居るのですからね、洋畫化した沒線的の日本畫だと歡迎するのですよ、ボストン美術館には日本畫、支那畫、就中日本畫多く

▲四千點 の餘に上り屛風も二百五十點から秘藏されてゐる平治物語は一卷が完全に此處で見られるには感服しました、現在日本にも二卷しか無い珍品ですといふ話ボストン、華盛頓地方は流石に日本畫を比較的

▲理解し てゐる樣です今度歸朝して諸展覽會を觀て、變遷の甚だしいのに一驚を喫した、今の日本畫は漸く寫實的な洋畫風に傾いてゐるが彼方で敢てホイスラアを俟たずとも餘程理想的な印象的な、日本畫に接近して來てゐる、この

▲對照が 非常に面白く感じられた一つの圓を描くやうに西から東から出發して軈ては軌を一つにする樣に成るのでは無いでせうか』

●平安丸爆沈は虛報

＝二十日無事浦鹽に入港

浦鹽斯德二十一日午後三時三十分發朝鮮郵船會社著電によれば「平安丸廿日午後入港し居れり船體無事二十二日出帆南行すその他の船舶にも何等異狀を認めず沈沒說の出所報知あれ』とあり右によれば平安丸爆沈說は虛報なりし事判明せる譯なり

不動の傳說　不動盜賊（二）

穴道を掘つて盜み出したが仕舞に足取機械にはさまれた

◇度支部跡の發掘白銅は不動か

秋の日の暮れ易くて夜は三更を過ぎ人通の全く絕えたる頃を見計つて二ツの黑い影は度支部の後庭に顯れた。何時の間に穿つたものか度支部後庭の一隅には裏の川に通づるべき

◇大きな穴が穿たれて あつた。彼等はこの穴から自由に度支部の內に侵入したのであつた。庭の彼方此方には其夜の內に幾個かの穴が穿たれ幾ツかの金塊が掘り出されてその間道を通じて運ばれた、翌日になると度支部ではこの鬼神の如き遣り方に一時は一同目を丸くして只だ驚嘆するばかりであつたが、忽ち城內の評判となつて

◇老若男女の見物に 集まるもので流石に廣き光化門通りは人を以て埋まりさながら人の海と化したのであつた。然し當局者はこの大事な不動を盜まれたので打棄てゝは置けず早速警務使に通知して犯人搜查の手筈を定めることゝなつた、けれどもこれが彼れ等父子の行爲であらうとは誰も氣の付くものは無かつた、時の警務使は早速一つの智慧を出してその穴を埋めることを禁じ掘られた儘にして置いた。

◇賊は見物人にまぎれて この穴を每に見に行くのであつたが一向穴を埋める氣色がないので一時は不審に思つたが二十日經つても一箇月經つてもその儘にしてあるので賊は一安心したものか尚ほ取り殘しの不動を取らんとの考へから或る夜密かに橫穴を通つて後庭に出でんとする一刹那賊は足を挾まれて身動きも出來なくなつた。それは警務使の智慧としられた大きな足取り器械であつた

◇天勝一行の乘込み 松旭齋天勝一行は既報の如く二十一日午後七時四十分南大門驛着列車にて華々しく京城に乘込みたり一座は二十三日夜より黃金館にて開演すべし（寫眞中央天勝、右要喜子、小天勝、今村靜子）

●米藥品工場大爆發

死傷者百餘名

有名なる米國エートナ化學藥品工場には數回に亘り爆發起り死者一百餘名負傷者無數を出だし損害一百萬弗に及べり（紐育電報）

●午砲傷害

佐賀師範生重傷　右腕に石塊發見

佐賀師範學校にては二十日正午二年生の兵式體操敎練を終へんとする一刹那東隣に接せる測候所高臺より發射せる午砲の音響と同時に生徒中の杵島郡大町村山下虎雄の長男亮治（一九）が悲鳴を擧げ人事不省となりたるより應急手當を爲せしに右腕上部より直徑約一寸五分の石塊を發見したるより目下砲手取調中なり因に亮治は重傷なるも生命には別條無かる可しと（[illegible]電報）

●佛像發見

＝青銅釋迦佛　慶北浮石寺より　其他印度、新羅佛廿一

慶尙北道榮川郡浮石面なる浮石寺は千數百年前の名刹なるを以て多數の遺物あり目下同寺は總督府にて適當の修繕工事中なるが四月二十六日朝工事人夫尹國煥及び趙鏞鳳の二名は無量壽殿須彌壇の下を取片附中塵挨の一寸餘りも堆積せる中より青銅釋迦佛一體外二十一點の佛像を發見せり時代は印度もの新羅もの新羅末ものなりと

●刑事に入質を賴む

盜んだ反物を　大邱署の前で俺は刑事だ

鳥取縣東伯郡赤崎町四十二番地當時住所不定鍛冶職吾妻信治（三二）は萬引專門の賊にて前科五犯を有する者なるが本年一月十七日釜山地方法院に於て竊盜罪に依り取調を受るに際し義利野堪太郞と詐稱し

▲前科を 隱して懲役四ケ月の判決を受け之に服役して本月十六日出獄翌十七日朝大邱に來りたるが復々持前の根性を出し同日午後五時頃元町三丁目中井吳服店に至り藝妓の著る樣なお召を見せよと命じ店員が持ち出せる數の反物中より一反を撰り出して『後刻藝妓と共に來るべければ此の反物を殘し置き吳れよ』とて五十錢の

▲手付を 渡しながら店員の目を晦まして西陣お召一反（價格二十三圓三十錢）を萬引し更らに同日午後七時頃東城町馬場吳服店に至りシャツ一枚を買ひ求めたる上前と同樣の手段を以て同じくお召一反（價格十八圓五十錢）を窃取し一度元町一丁目下宿屋備前屋に立ち歸りて右の反物を室內に隱し置きたる上再び元町に到り伊藤吳服店にて風呂敷一枚を求め亦候

▲藝妓向 のお召一反（價格二十五圓五十錢）を萬引し何食はぬ顏して京町一丁目某鮮人旅宿に至りたるが惡運の盡きにて折柄同旅館に於て食事中なりし大邱署の刑事巡查補金道根氏に向ひ之が刑事とは夢にも知らず『自分は反物一反を入質したるも內地人の質屋は多く貸されぬに依り何處にか鮮人質屋は無きや』と尋ねたれば

▲金刑事 は該品を見るに同人の所有物として疑はしき點あるより之れはと努めて何氣なき風を裝ひ尙も『入質して遣るが手數料は吳れるや』と問ひしに同人は得たりと許り充分に手數料を出す旨を告げたるより金刑事は其儘同人を伴ひて直に大邱署に到り門前にて

▲自分が 刑事なる事を告げ有無を言はせず引致し取調べの結果遂に一罪狀を自白せしより尙引續き司法係の手にて取調中なるが同人は留置場に於て『內地人の刑事ならば兎も角鮮人の刑事に一杯食はされたのが殘念なり』とーきりにこぼし居たりと

●河合文學博士發狂す

朝鮮史學者として有名なる文學博士河合弘民氏（四七）は發狂して戶山腦病院に收容されたり博士は明治四十年東洋協會專門學校の京城分校の敎頭として赴任せる以來九年間在鮮せしが朝鮮史の研究を以て大正五年博士號を授與され後小石川殖民大學の講師たりしが極度の神經衰弱に罹り發狂狀態に陷りたるものなりと（京電）

●吉村大佐逝く

宇都宮第十四師團參謀長步兵大佐吉村健藏氏は同市內西原町の宅にて二十一日午前七時半朝餐を濟せ乘馬に跨り師團司令部に出勤せんとする刹那突然腦溢血を起し絕命せり因に享年四十三歲也（東京特電）

●大野派參謀收監

京都市會議員瀆職事件にて大野派の參謀たりし上田滿次郞氏も收監されたり（京都電報）

●松風會素謠大會

京城觀世松風會にては五月廿六日午前九時より南米倉町京城俱樂部にて春季素謠大會を催す由にて番組は

竹生島（上羽、水野、本條）忠度（中尾、松崎、山村）定家（早川、青井、白石）姥捨（松本、不動、曾我）[illegible]（中島、丹羽、湖小町、堀內、岡崎、田中、柏崎、佐々木大人）[illegible]（山本、寺田、婦人、咸陽、宮山本）大原（大人、[illegible]、奈木內、大臣、大上海）[illegible]（有田夫人、佐山夫人、上東、清水）金山（有田、後藤、天狗、服部、穴井、吉井（芳））

●九日目取組

（友ノ浦○通○鏡○（宇都宮（達ノ矢

鬼鹿毛（矢筈山（大戶平（敷島

（大○門○岩○（八甲山（釋迦嶽（宮城山

藤ノ川（紅葉川（錦島（彌高山

對馬洋（源○氏○山○（栃木山

大潮（千○葉○崎○（三杉磯

中入後

（大ノ蔦（大ノ里（綾川（岩木山○

大[illegible]（土州山（琴ケ浦（石山○

（[illegible]（駒ノ泉（常ノ花（一港

（[illegible]淸川（大鳴戶（朝潮

▲相撲電報延著 東京大相撲八日目の勝負手捌きは電線不良のため不著につき夕刊に記載することゝせり

▲黑瀨御西休場 黑瀨川は胃腸病にて御西山は氣管支加答兒にて休場せり（東京特電）

●事實 特許宮崎式ペーチカ 龍山漢江通の宮崎組は從來大連奉天及び滿南に支店を有せしが今般咸興、平壤、本溪湖、鞍山、大石橋に出張所を設け一層販路の擴張を計る由

御注意

昨今京城日報社員と稱して何等かの名義を附して寄附を要請するものある由にて現に或る一人の被害者より問合はせの向き有之候處本社にては右樣の事斷じて之無候に付今後も斯の如き者徘徊せずとも限らざるに依り愛讀者諸君は御注意相成度候

京城日報社

金牌賞牌廿四個受領

なるほど 賞讚されつゝある

美味である 滋養がある と

蜂印香竄葡萄酒

よく味つて見て下さい！

必ず他品の眞似のできぬ美味と滋養が見出され升

毎食前一杯づゝで元氣健康を增進す

蜂印香竄葡萄酒は優良生葡萄酒を基として血强壯料を主成分として精製せる販賣品なり 到る處の藥店酒店にあり

東京本町 近藤利兵衞

天勝孃 藝術界の明星たる 彼女の一行は 廿三日より 黃金館に於て

鳩と森永ミルクキヤラメル

鳩と森永ミルクキヤラメル 天勝孃一行

音樂合奏 天勝

お馴染の曲藝 一光軍

小奇術數種 五名

各國流行ダンス 三名

金綿上の大曲藝 三虎

小奇術數種 一光

滑稽大小奇術 衛一

封じ術の大脫出 天勝

四本柳作 電氣照明 天有

印度古典悲劇「サトラ」

日本舞踊 若狹比丘 渡邊

國王波斯匿 竹內

法女の甲 山本

法女の乙 靜子

比丘尼 四名

法女サトラ 天勝

其外武士一勢

四本朝春作 奇術照川

歌劇「平和の女神」

村の乙女 十一名

獨逸ウイルヘルム 山本

墺太利ヨセフ 一光

土耳古サルタン 渡邊

ババリヤオスカー 竹內

ルクセンブルグ 繁子

王國ハニス 六名

天使 天勝

白耳義ベルラヤ 六名

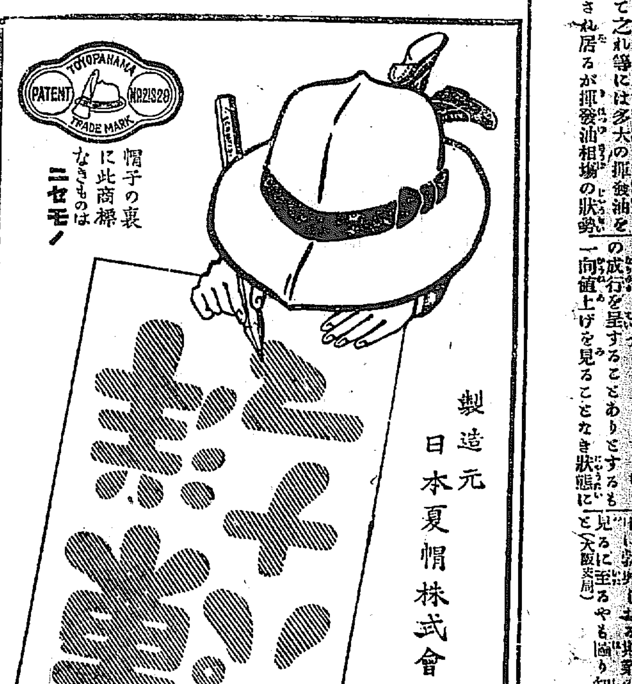
日英米露佛伊の兵士 [illegible]

印刷料値上謹告

諸材料暴騰致候爲め止むを得ず本月より印刷代二割方値上實行の事に相定め候此段謹告仕候也

大正七年五月

京城印刷組合



帽子の裏に此商標なきものはニセモノ

製造元 日本夏帽株式會社

花吹雪 (三十八)

大阪 中谷青霞

『さて殘念の儀ぢや取逃がした。』建部讃十郎は今方伺候した柳川を膝近く招いて、茶宴に事依せ清兵衛所望の儀、逐一物語り、さてと嘆息の聲を放つた。

『して其夜月岡の邸へは何人もお遣しはなされずでムりまするか。』と眼を皿のやうにして讃十郎の面を見上げるのは香雨である。

『曉方に至りふと心附き、苦し紛れに主從の緣切つたと云放ち、其夜のうちに落し遣る謀略なる計らはれず、家來の者共呼び起し宙を飛ばせて月岡の邸を取卷かせ、怪しの者も出でなば苦もうない用捨なく搦め取つて參れと嚴しく命じて遣はせしも、無念乍ら早落のびた後と見ゆ、小犬一匹飛出さず、翌朝聞けば初夜少し過ぐる頃邸を立退いたとやら、迷に空しく手を退いて歸りし始末、香雨殘念至極ぢやわ。』

と讃十郎は苦り切つた樣。

『して又殿樣其後のお胸算は……。』

『さればぢや、最早此上はお事の手を借りて、清兵衛奴を引寄せる手段をめぐらす外はない。』

『某手にて清兵衛を引寄せまする謀略とは又如何やうの儀でムりまする。』

『其處がお事の智慧を借りたい一儀ぢやわ。』

『成程……。』

と香雨は腕を組む

『身が思案も最早此上は施す謀略がない、只お事が手にて如何やうとも清兵衛を邸へ引寄する策もあらば重疊の儀……。』

『むー。』

と香雨は何思案の躰。

『然るべき胸算はないか。』

『むン、御座りまする。』と香雨は突然膝を丁と打つて、座を進むる。

『してお事の胸算は何とぢや。』と讃十郎は覺えず膝を乘り出す。

『されば御座りまする此程某が身内の奴共がチラと耳にした樣子には、彼の遊女唐土小梅の窓にて主税之助に逢ひ、日頃思ふ心の程を打明け、互に末の契りを固め、誓ひの紀念を取交したとも聞きまする、されば主從の井戸清兵衛、その程の消息よも知らぬと申すやうの儀はムりますまい、なれば邸を出でゝ浪人の身となるも、清兵衛諜作ら、主税之助始め唐土が行末見屆け、一臂の力を添ふるは定、其處を見込んで唐土を如何やうとも此方へ奪ひ取らば、浪人の身の捨鉢唐土の身に過ちあらせじと飛んで火に入るは必定、手もなう引寄せらるゝかと胸算まする、有やう力づくでは到底引寄せ難い井戸清兵衛、この一儀の外策略はござりませぬ。』

『むーお事が胸算近頃の奇計ぢやわ、して唐土とやらを奪ひ取る謀略は。』

『殿樣、その儀は某手にて譯もないこと、小梅の窓に出養生、只逢ひたい見たいが病ひのもと、そびき出して奪ひ取り、お邸へ舁ぎ込み、有無を云はせぬ密計は、某方寸にムりまする。』

『して其手段は何とぢや。』

『殿樣、恐れ乍らお耳を……。』と近々と寄添ふ香雨、讃十郎の耳に口寄せて何事か囁く。

『うむ主税之助が師の坊の妙見院に。』

『詐り寄せて猿轡、駕に乘せてお邸まで、今宵のうちに……。』

『むー頗る妙ぢやわ、さらば香雨是より直ぐにも。』

『心得て御座りまする。』

頷き合うて、二人はニヤリと笑みを洩らした。

鷄林同人會詠草

御歌所寄人 井上通泰選

椿　丸野豐

をさの音のさかにひびく竹村のひまくれなゐに椿花さく　松田甲

神そのゝみどり色こき杉のうへに風吹かずして椿こぼるゝ　佐々木信一

春あさみまゐる人なき山寺のかたぶく軒につばきこぼるる　田淵栜

逝つおやの御墓たがむと見て見ればつばきぞ咲ける昔ながらに　渡部啓次郎

里川の水もぬるみて蔭かげの椿の花は今さかりなり　白石資献

神

ふるさとをはなれ來し身も産土の神はうしろにゐます心ちして　丸野豐

うすらひをふむ心ちする世の中に神ばかりこそたよりなりけれ　佐々木信一

いつきまつる天つ社にから人も朝夕まゐる御世となりけり　渡部啓次郎

明らかに目には見ねど何となく奇しき力のあふがるゝかな　田淵栜

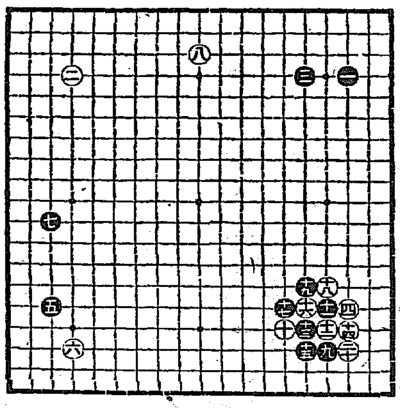
一筋に神をたのめる老人のこゝろやいかに安けかるらむ

新刊紹介（到着順）

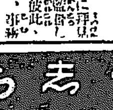
▲阿片溺愛者の告白（辻潤譯）序、阿片溺愛者の告白、後の阿片溺愛者の手記より、著者の小傳、註、蛇足等、装幀は布を用ひたる瀟つた製本なり（九十錢東京本郷駒込林町二三七三陽堂）

碁戰（一）

大正七年五月二十日（於京城倶樂部）京城日報主催圍碁會



讀者の領分



▲御折介生の投書に拜見。然し當方も此れ程迄てゐるから君等から彼此言はれる筋はない、御折介には及ばぬよ、寧ろ……

▲熟行上議論を生ずるでもなし又他人に迷惑を掛ける樣な──愉悦の念を起さしめる樣な事は行ひもしない積りだから安心しまたへ人のせんいよ、でなければ他日君の頭上に大鐵槌が落下するだらう幸に君の投書が誠實を以てしたものであるならば赦し給へ（所長）

▲本月十六日（雨天）午前十一時半頃年北北向ふ途中、出を去る一里三十丁許りの處に於て登り坂を僕は自轉車を押し登り行くに向ふより三十歳前後の婦人乘馬にて下り來り日く後よりチョンガが子を負ひ來る故此カッうを渡し呉れよとの頼み僕は夫れを受けしに送迄で來するも其チョンガに出會ざるは何處にてか道間違ひをなしたるものならん僕も共だ迷惑致居る次第何れの御人か本紙を借り御知らせ下被早速返戻可仕候（旅行者）

▲岡末生の御說の樣に京城民間の代表人物はから駄目ですれ──高尚なる理想なんかあるもんですか皆高利貸的ですよ殊少しドーにかならんといけませんれ（一市民）

▲本年の光熙門裏外は蠅が多くて困ります昨年迄は門外の龍井邊に石灰などで蠅の驅除を行ひましたが本年はまだやりませんまさか物價騰貴に衞生を顧みず衞生をするわけではないでせう速に驅除方を御願ひいたします（東部居民）

▲妾の知人で主婦と少女さ二人で探して居る家ですが知人の御方で下宿をさがして居る方はありませんか御家のお方は當欄で御知らせ下さい（親切女）

▲柔道（四の五）柔道の主義に適つた社會生活（嘉納治五郎）形式に固定せぬ樣にせよ（兼作博士）柔道の解說、勝負法の研究、業の研究は何れも斯界名家の談話に成るものにして執筆者は山下、永岡、村上、岡野、高橋、宮川、磯、山崎、岡本諸氏外に協內の作用（木下譽學博士）漢詩評釋、內野習論講話及び柔道に關する多趣味の記事豐富なり（二十、東京小石川大塚坂下町百十四柔道會）

▲少女畫報（七の六）十數頁に亘る美しい畫報と百餘頁の面白き讀み物ありて美しく面白き事此の上なし（十八錢、東京京橋町一東京社）

▲寫眞タイムス（一一七）內外の新らしき出來ごとを鮮明なる寫眞版となして掲出したる畫帖なり之れを永久に保存せば時代の繪畫史たるべく本號には三十二種の寫眞を收む（二十五錢、東京京橋新肴町明治製版所）

▲主婦の友（六月號）論說も美しく內容記事何れも平民的にして重なる記事は老若調和の家風を作る法、世話の焼けない子供の躾け方、廢物利用の內職及び衣類、裝身具等の造り方、經濟の經驗、手輕に出來る衞生上の心得、調髮美容法、料理法、染物洗濯の奧義、靴の手入れ法等凡て實地の經驗を基礎として執筆せる至極重寶なる家庭雜誌にして特別讀物には婦人小說家庭小說滑稽小說講談小說等あり（二十錢、東京神田表神保町二東京家政研究會）

最新刊

書名 著者 定價
- 詳解 文章軌範 大町桂月 一、五〇
- 時局に關する教育資料 第十二輯 帝國教育會 二七
- 官立學校國語問題模範詳解 遠山操 八〇
- 德富健次郎著 新春 定價一圓六十錢
- 新定師範教授の實際 谷山秀教 一、九〇
- 阿片溺愛者告白 辻潤譯 九〇
- 鑛山事業物語 箱田重弐 一、五〇
- 四 敬 田邊 一、二〇
- 小紙 庫 宅 一、五〇
- 評田學講師 定價 八十五錢 天然生活法

京城本町 大阪屋號 電話六八四番 二〇、八六番 振替京城二二五七三番
（本店東京（同店）大連、旅順、鐵嶺、釜山）

赤毛染 がらまさ ナイス

色も艶も申分ない 志らが染はナイスが第一

ナイス五大特色
▲僅二十分で染る
▲永く保ち褪ず剥げず
▲艶々と黑く美しく
▲襟枕に浸着せず
▲用法至極簡易

大瓶七十錢 小瓶四十錢 男子用三十錢
發賣 大阪東京 丹平商會
到る處の藥店化粧品店にあり

百円進呈

りんばいん病毒（藥合諸）
特製 壹圓 特製武 貳圓廿錢

▲染料十二錢代金引換送料廿一錢▼
梅毒、淋病其他の諸病に特效を有する名藥を主藥として配合し斯學上有效と確定して服用せば確實なる保證有り

帝國醫科大學病院 等に
於て分析料百圓進呈
あらゆる治療をなすも効無き患者諸君、東京を始め京城、龍山、仁川、平壤其他到る所我商品名を掲げ僞物を賣る奸商ありて迷惑す
にせ物 御注意あれ
商標の名を捺し僞物を賣る奸商あり
製造元 大阪有田ドラッグ商會
發賣元 東京日本橋大阪 三休橋北詰 ドラッグ商會
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會本部
長電話二五六七〇 振替京城四六七

支店
京城黄金町三丁目電車通◉元山本町
龍山練兵場前停留場◉平壤模町一三
釜山大廳町二丁目◉仁川宮町二丁目

婦春草紙
一度貳錢郵券同封にて御申込次第送呈
九拾錢大寶冊貳圓五拾錢珍物二
包送料拾貳錢宛三品同時なら四
個人の名義でも返信送品致しま
（照會乞）東京芝三光町春秋社

總監部御認可 衞生無害

蠅取散
室内の空氣中に撒布せば蠅は十分間にして死す アラユル害虫に有効
全鮮一手引請捌元 京城南米倉町交番前 島田藥房
▲各地藥店雜貨店に販賣す 特約店及行商希望の方照會乞

京日案内

普通五十錢 番外一圓

▲申込は前金にて取扱ひ候事
▲掲載後の中止は理由の如何に拘らず返金致さず
▲照會の節は返信料の事
▲取扱ひ文字の數制限あり

普通

▲店員一名 廿一歲以上 要保證人
外交員一名 朝鮮藥報 古屋入用
副業に適す 本町ウツボヤ書店 101

▲書籍商業卒業者年齡廿才前後
日鮮人貳名入用 電話二八一〇番
南大門通り五丁目 齊藤商店 93

番外

工場監督員採用
機械工場勤務の經驗あり身許保證人を要す 希望者は履歷書送れ
平南安州 福井黑鉛製錬所

醫師招聘 希望者は左記へ來談あれ
（平南順川）京城諫町四二六 青陽鑛山勤務 107

貸家 京城旭町壹丁目 貸武拾圓水道付き 間數四間 湯殿あり 103

白水電一七一三九一四番

勸業債券高價買入 54
六六回拾圓武拾錢 六八回拾圓にて買入ます 京城太平通一ノ一三 電二七九三番 朝鮮產業社

製糸女工募集 十四歲以上二十二歲迄 日收拾錢以上現在女工二百五十名あり（京城三坂通南廟横）合資會社 高藤製糸社 93

てんぷら 天井 100
南大門 集雅館北隣 電話一七四番 福島屋

醫師樂手師 宮川仁壽堂 105
當主歸省中の處歸宅從前の通り治療に從事仕候（電話二五九五番）
うちみ くじき 東（フランス）教會正門前 明治町

女中入用 品行善き二十歲前後の人 南山町 松園 92

中古玉突臺賣却 88
アメリカテーブル武臺完全なり 詳細は左記へ御照會を乞ふ 北漢山金鑛會社内 飯島

店員 四五名入用 81
十四五歲以上二十歲位迄 但し要保證人 希望者は履歷書携帶至急來談あれ
大和町角 土永呉服店

年金恩給 最長期節時立替 45
四年半迄保險不要 利息安全 前引なし
商品陳列館前 京城永樂町 江州屋本店

はねつぎ うちみ くじき 24
一切の治療御依頼に應ず
明治町 柔術道場

初夏の化粧 その三

此節は殊に手輕で美くしいレート粉おしろい

皆様の實驗 ─今一般に流行して居るレート粉白粉の使ひ方

レート粉白粉の使ひ方は先づクレームレートを下地に引いて一たん是れをば濡手拭で拭き取つた上へ粉刷をするので御座います

がお使ひになつても品位高く見ゐます。今く經便化粧で、美容の效果を得たものはレートの粉刷き化粧でムいませう。

◎此方法による皆様の實驗談

▽三越の化粧室で。（S子樣）
粉刷き化粧はお化粧の仕上げばかりに使ふものかと思つてましたら、三越のお化粧室でクレームレートを下地に引いた上へ、レート粉白粉を粉刷きして居られるのを拜見して、實驗して見ると、成る程、これ程、手輕で氣持よく美くしいお化粧の出來るものはないといふ經驗を得ました。

▽非常に上品です。（T夫人）
クレームレートを下地に引いて置くと第一浮脂が留まりますし、日焦が致しません。其上へ、分子の細まかい附きのよい、レート粉白粉を粉刷きすると、ポーッと浮き立つ白さが總てらしくなく自然で上品で、誰方

▽家庭化粧の上乘。（N美顏術師）
お化粧は態とらしくなく上品なのが美容上の第一要素です。又、平常綺麗にして居るのが御婦人の禮儀です。この點から、クレームレートを下地に引いてレート粉白粉を粉刷きして置く化粧法は、實に家庭化粧の上乘なものでムいませう。私の經驗によりますとレートの粉刷き化粧は、白さの上品な事色のクスまぬ事、化粧汚れのせぬ事、夜目にも變らぬ事、そして手輕で早く出來る事等は、到底、他の白粉の眞似に見ぬ處でムいます。

東京 平尾賛平

日本郵船出帆 仁川出帆

○大連行 天津行
相模丸 五月 日
三河丸 六月九日
高砂丸 五月三十日 正午
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀 回漕

尼崎汽船 仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、大阪行
神代丸 五月十八日 後四時
秀吉丸 五月 日 後四時
君代丸 五月廿四日 後四時
大有丸 五月 日 後四時
仁川海岸通一丁目 電話 荏 彥 町

阿波共同汽船 仁川出帆

大連直行 同
二十一共同丸 同
十六共同丸 五月廿二日 入二十二日
朝鮮總督府命令航路
本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店 野口商會

朝鮮郵船出帆

○敦賀行 清津發 元山經由
平壤丸 五月廿八日 清津發 / 五月卅一日 元山發
○浦汐行 大阪發門司 釜山 元山 城津 經由
山陽丸 五月廿九日 釜山發 / 五月卅一日 元山發
○雄基行 門司發 釜山 各港經由 ×印江原道
×京畿丸 五月廿五日 釜山發 / 五月廿八日 元山發
忠清丸 五月三十日 釜山發 / 六月三日 元山發
○元山雄基線 元山發 各港經由
鏡城丸 五月廿六日 元山發
○大阪行 門司 釜山 元山
平安丸 五月廿四日 元山發 / 五月廿六日 釜山發
○關門行 ×摩耶山丸 五月廿六日 元山發 / 五月廿九日 釜山發
忠清丸 六月一日 元山發 / 六月四日 釜山發
○金剛山遊覧便
○蔚陵島行 盈德丸 五月廿九日 釜山發
○釜山浦項線 江陵丸、金海丸 毎日 釜山、浦項發
○濟州島行 昌平丸 五月廿三日 釜山發
○濟州島行 木浦發
東廻公州丸 五月廿三日 / 西廻慶興丸 五月廿六日 木浦發
○釜山麗水線 濟州丸、巨濟丸、統營丸 毎日 釜山麗水發
○木浦麗水線 順天丸 五月廿三日 木浦發
○多島海行 慶興丸 六月二日 木浦發
○木浦行 慶寶丸 六月二日 仁川發
○海州行 錦江丸成歡丸 毎日 一回 仁川海州發
○鎭南浦行 全州丸 五月廿三日 仁川發
○青島行 江原丸 六月一日 仁川發
○鎭南浦大連直行線 宗信丸 五月廿八日 鎭南浦發
◎朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便アリ
本社 京城南大門通（電話一九五二）
釜山港佐藤町 釜山支店
元山港海岸通 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部
木浦港代理店 小野回漕部
京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店 電話二七〇番
（其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ）

下期米 二十一日後場 當限 中限 先限
仁川米豆取引所

大阪三品 △二十一日後場 ▲當限寄付 ▲中限寄付 ▲先限寄付

事に寄付たるも七十八錢と割込み二節に至り大阪前止め二十五圓二十四錢後寄二十八錢四節十七錢の入電に七十四錢と押し後五七錢を後合ひ九錢と戻し七錢と打止たり
四錢五錢六錢五錢六錢五錢三節七十五錢六錢五錢六錢五錢七錢六錢七錢四節七十六錢七錢八錢九錢八錢七錢

平均値段 一節 二十一圓八十錢 / 二節 二十一圓七十六錢 / 三節 二十一圓七十七錢 / 四節